

薬袋印刷システム

基本操作

平成 30 年 12 月版

目次

I . ソフトの起動・終了	2
II . メイン画面の説明	3
III . 印字設定	4
1. 印刷プリンターの選択	4
2. 実際に印刷されるイメージを確認しながら、印字様式、印字位置の変更を行う	5
IV . システム設定 – 初期設定	6
V . 薬袋サイズの判定	14
1. 薬袋のサイズを判定する為の「単位」を決める	14
2. あらゆる形状の薬品も、薬品ごとに「単位」を設定	16
VI . 薬品マスタの活用	18
VII . 粉薬の混合	21
VIII . 患者マスタの活用	23
IX . 印刷時の手順	30
1. ボタンひとつで薬袋を発行。確認画面を使えば、必要に応じて薬袋の有無、枚数・サイズの変更、編集が行えます	30
2. 薬袋の再発行	34
X . 患者個別「編集履歴の保存機能」	35
XI . その他設定	36
1. 薬袋に画像を貼り付けて、オリジナル薬袋を作る	36
2. バックアップ	37
3. 各マスタの保存・復元	38
4. 不要な用法コメント（服用指示）を印刷しない	39
5. データの履歴保存日数	39
XII . よくある問い合わせ ～設定逆引き～	40

I. ソフトの起動・終了

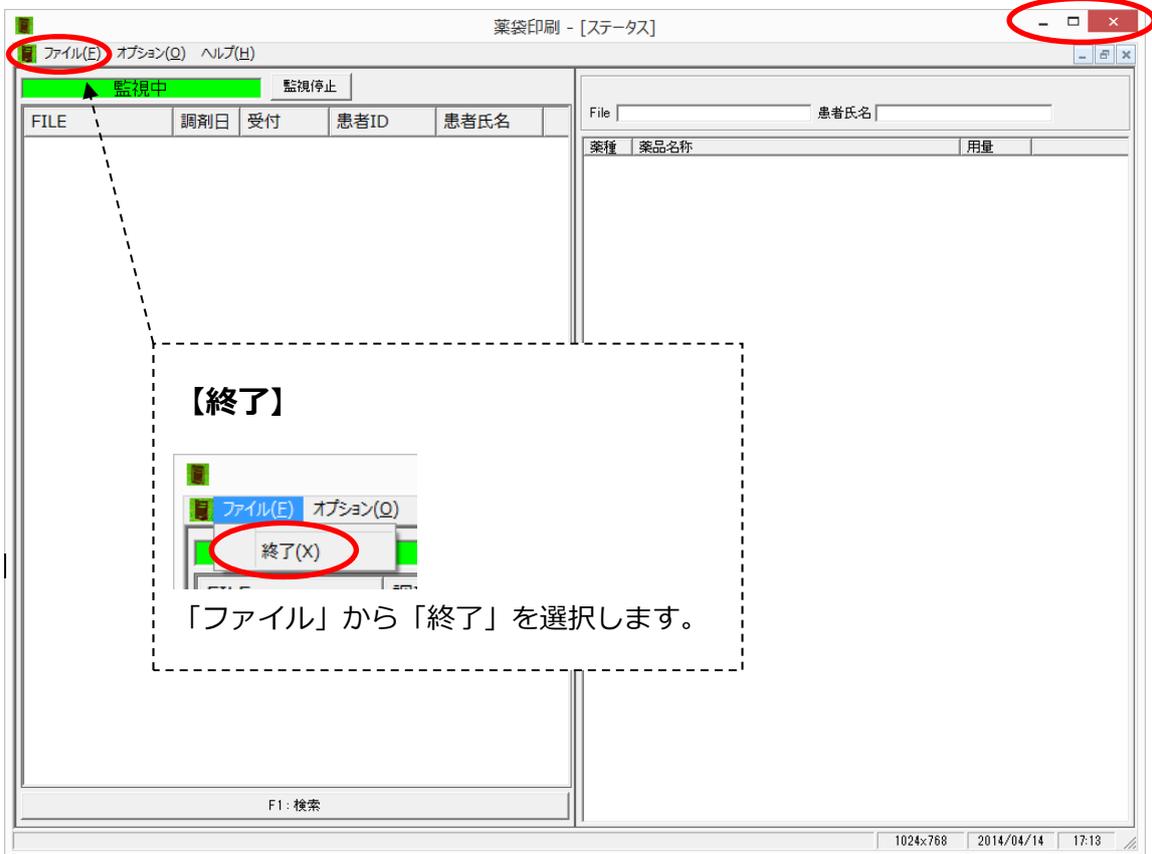


【起動】

薬袋ソフトがインストールしてあるパソコンで、このアイコンをダブルクリックするとソフトが起動します。

ソフトが起動したら、画面右上にある「 最小化」ボタンか「 閉じる」ボタンを押してタスクバーへ画面を下げておきます。

※「 閉じる」ボタンでソフトは終了しません。

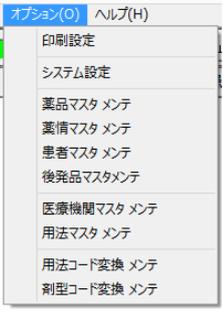


ポイント

より快適な動作でご利用いただくために、薬袋ソフトはお使いのレセプトソフトより先に起動してください。

Ⅱ.メイン画面の説明

「オプション(0)」・・・全ての設定はここから行います。



薬袋印刷 - [ステータス]

監視中 監視停止

調剤日	受付	患者ID	患者氏名
2014/04/01	10	00010	患者
2014/04/01	9	00009	患者
2014/04/01	8	00008	患者
2014/04/01	7	00007	患者
2014/04/01	6	00006	患者
2014/04/01	5	00005	患者
2014/04/01	4	00004	患者
2014/04/01	3	00003	患者
2014/04/01	2	00002	患者
2014/04/01	1	00001	患者

レセコンから薬袋発行指示があった患者様が表示されます。
上から新しい順でデータが並びます。
※患者様の名前をクリックすると薬袋リスト(発行画面)が表示されます。
※下にある「F1:検索」ボタンから、フリガナや生年月日での絞り込みができる検索画面へ進みます。

F1:検索

1024x768 2014/04/15 11:07

監視中

→ レセコンから薬袋発行指示がきたら薬袋を発行できる状態。

監視停止

→ レセコンから薬袋発行指示がきても薬袋を発行できない状態。

(送られてきたデータは消えません。監視中に変わると薬袋が発行されます。)

※監視停止の状態になっている時は以下のことが考えられます。

- ① 設定変更中である。
- ② 横にある「監視停止」ボタンを押している。
- ③ 薬袋リスト(発行画面)が開いた状態にある。

ポイント

「監視停止」ボタンをプリンタートラブルの際に押せば、薬袋発行をプリンターに送らず待機するので、プリンター復旧後に再度「監視停止」ボタンを押せば待機していた薬袋を全て発行できます。

Ⅲ. 印字設定

1. 印刷プリンターの選択

オプション ⇒ 印刷設定



薬袋は「小袋」、「中袋」、「大袋」、「特大袋」の4種類、「ラベル」は1種類から選択。

使用：使用する薬袋サイズにチェックを付けます。

プリンタ：ダブルクリックするとプリンターの設定画面が開くので、使用するプリンターと用紙サイズを指定します。



※トレイ、用紙、向きに表示された数値はソフトが管理のために振っている数値で実際のトレイ番号などではありません。

2. 実際に印刷されるイメージを確認しながら、印字様式、印字位置の変更を行う

印刷設定

使用	プリンタ	用紙	向き
<input checked="" type="checkbox"/>	RICOH IPSiO GX e5500トレイ1	1	384 0
<input checked="" type="checkbox"/>	RICOH IPSiO GX e5500トレイ1	1	37 0
<input checked="" type="checkbox"/>	RICOH IPSiO GX e5500トレイ2	3	73 0
<input checked="" type="checkbox"/>	RICOH IPSiO GX e5500トレイ2	3	9 0
<input type="checkbox"/>		0	0 0
<input type="checkbox"/>		0	0 0
<input type="checkbox"/>		0	0 0

項目名	印刷	X	Y	フォント	サイズ	書式
薬種	<input checked="" type="checkbox"/>	40.0	24.0	MS P明朝	30	[詳細は、ここ...]
調剤日	<input checked="" type="checkbox"/>	80.0	45.0	MS P明朝	12	調剤日:+
受付番号	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	0.0	MS P明朝	9	受付番号:
医療機関	<input checked="" type="checkbox"/>	12.0	40.0	MS P明朝	12	
診療科目	<input checked="" type="checkbox"/>	12.0	45.0	MS P明朝	11	
医師氏名	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0		0	
患者ID	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0		0	
患者フリガナ	<input checked="" type="checkbox"/>	42.0	52.0	MS P明朝	11	
患者氏名	<input checked="" type="checkbox"/>	37.0	56.0	MS P明朝	24	
薬品名称	<input checked="" type="checkbox"/>	14.0	129.0	MS P明朝	11	
薬品コメント	<input checked="" type="checkbox"/>	16.0	139.0	MS P明朝	21	
用法タイトル	<input checked="" type="checkbox"/>	10.0	32.0	MS P明朝	13	
用法	<input checked="" type="checkbox"/>	22.0	81.0	MS P明朝	28	
用量	<input checked="" type="checkbox"/>	22.0	105.0	MS P明朝	18	
1日回数	<input checked="" type="checkbox"/>	18.0	71.0	MS P明朝	21	
日数・回数	<input checked="" type="checkbox"/>	78.0	71.0	MS P明朝	20	
服用指示タイトル	<input checked="" type="checkbox"/>	70.0	75.0	MS P明朝	17	
服用指示	<input checked="" type="checkbox"/>	99.0	99.0	MS P明朝	17	

No	印刷	X	Y	ファイル名
1	<input checked="" type="checkbox"/>	9.0	49.0	B6_midori.wmf
2	<input type="checkbox"/>	100.0	160.0	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	0.0	

X, Yはmm単位で設定します。文字サイズは、ポイント数で設定します。

OK キャンセル 適用(A)

設定変更する薬袋サイズの“プリンタ”欄をクリックします。すると右側にイメージと、左側に設定欄が表示されます。右側のイメージを見て変更したい項目の設定値を変更します。

印刷：薬袋に印刷する項目に✓を付けます。

X：印字位置を横に移動。数値が大きいと右よりに印字。

Y：印字位置を縦に移動。数値が大きいと下よりに印字。

※ X、Yはmm単位で設定します。用紙の左上隅が座標0になります。

フォント：ダブルクリックするとウィンドウが開き、フォント種類、文字サイズ、文字スタイル、文字色の変更ができます。

サイズ：文字サイズの変更ができます。数値が大きいとサイズも大きくなります。

書式：印字される文字の前後に定型文を入れることができます。

(例) 通常の“調剤日”の印刷は、「H26/04/01」とだけ印刷されますが、書式で、「調剤日：+」と設定して薬袋を印刷すると、「調剤日：H26/04/01」と印刷されます。

※ +マークを文の前後どちらに配置するかで、印字位置が決まります。

★「薬種」と「服用時点」だけは、ダブルクリックすると書式と文字色を設定できます。

「服用時点」に関しては10ページの「No.12 服用時点を～」を参照ください。

※薬袋イメージの更新は、変更を行う度に「適用」を押して下さい。

全ての設定が終了したら、「適用」を押して「OK」で終了。

IV. システム設定—初期設定

オプション ⇒ システム設定 ⇒ 基本

システム設定

基本 | 拡張 | 薬袋サイズ | 薬品別コメント | 患者別コメント | 薬情1 | 薬情2 | システム1 | システム2

薬局名称

薬局住所

薬局TEL

薬局FAX

用法タイトル

服用指示タイトル

注意事項タイトル

コメント

患者敬称

才未満

才以上

年齢設定

小児 才未満

老人 才以上

OK キャンセル

薬局名称：薬局名称を入れておけば印刷設定の「薬局名称」の項目で印刷されます。

薬局住所：薬局住所を入れておけば印刷設定の「薬局住所」の項目で印刷されます。

薬局 TEL：薬局電話番号を入れておけば印刷設定の「薬局 TEL」の項目で印刷されます。

薬局 FAX：薬局 FAX 番号を入れておけば印刷設定の「薬局 FAX」の項目で印刷されます。

用法タイトル：入力したテキストが印刷設定の「用法タイトル」の項目で印刷されます。

服用指示タイトル：入力したテキストが印刷設定の「服用指示タイトル」の項目で印刷されます。

注意事項タイトル：入力したテキストが印刷設定の「注意事項タイトル」の項目で印刷されます。

コメント：入力したテキストが印刷設定の「コメント」の項目で印刷されます。

患者敬称：年齢と敬称を選択します。設定した敬称が患者名の後ろに印刷されます。

0 様、1 くん・ちゃん、2 さん、3 なし の 4 つから選択できます。

例) 9 才未満 1 くん・ちゃん、9 才以上 0 様

60 才の患者様→山田 太郎 様 6 才女の子の患者様→山田 花子 ちゃん

※「くん・ちゃん」は男の子か女の子を自動判断します。

年齢設定：現在利用できません。

システム設定

基本 **拡張** 薬袋サイズ 薬品別コメント 患者別コメント 案情1 案情2 システム1 システム2 管理

薬袋を発行しない薬種
 内滴 内服 頓服 外用 注射薬・その他

錠剤の単位
 カプセルの単位

印刷順を逆にする
 印刷先を2セットにする
 印刷先を4セットにする
 小児用の印刷設定 才未満
 印刷順を処方入力優先にする
 外用の印刷設定
 注射の印刷設定

No	SW	オプション
1	<input checked="" type="checkbox"/>	同一服用をまとめる
2	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける
3	<input checked="" type="checkbox"/>	不均等の薬袋を別にする(単独にする)
4	<input type="checkbox"/>	外用の薬袋をまとめる
5	<input checked="" type="checkbox"/>	最大薬袋を複数枚印刷する
6	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、用量を1回1包とする
7	<input checked="" type="checkbox"/>	別袋指定のある薬品同士をまとめる
8	<input checked="" type="checkbox"/>	用量の異なる薬品をまとめる
9	<input type="checkbox"/>	一薬品一薬袋とする
10	<input checked="" type="checkbox"/>	用量の欄に薬品名を印刷する
11	<input checked="" type="checkbox"/>	印刷前に一時停止する
12	<input checked="" type="checkbox"/>	服用時点を印刷しない
13	<input type="checkbox"/>	薬品名称を印刷しない
14	<input type="checkbox"/>	医療機関・診療科目を印刷しない
15	<input type="checkbox"/>	最大薬袋を超える薬袋は印刷しない
16	<input type="checkbox"/>	一包化時に、就寝前を分ける
17	<input checked="" type="checkbox"/>	薬品名称を1行ごとに印刷する
18	<input type="checkbox"/>	薬袋区別 0=医師/1=診療科/2=病院/3=区別なし
19	<input type="checkbox"/>	薬袋を一袋で印刷する
20	<input type="checkbox"/>	用法の「朝・昼・夕」に色をつける
21	<input type="checkbox"/>	一包化用法「毎食」→「朝・昼・夕」
22	<input type="checkbox"/>	初期状態で薬袋の印刷チェック解除
23	<input type="checkbox"/>	薬情を印刷しない
24	<input type="checkbox"/>	手帳を印刷しない
25	<input type="checkbox"/>	薬袋「なし」のみ、薬情を印刷する
26	<input type="checkbox"/>	薬種・用法を印刷する
27	<input type="checkbox"/>	一包化時に散薬を含まない
28	<input type="checkbox"/>	一包化をヒート扱い、服用時点毎にする
29	<input type="checkbox"/>	一袋に用量と薬品名を印刷する
30	<input type="checkbox"/>	後発品の案内:薬品マス外に登録されている薬品を「在庫あり」とする
31	<input type="checkbox"/>	ヒート薬品の就寝時を分ける

OK キャンセル

⇒ 適用させる項目にチェックを付けます。 ※一部指定された数字を入れます。

50%以上をこの決まりで印刷するものに✓を付けます。

(この決まりから外れた場合は患者ごとに個別設定で対応します。)

薬袋を発行しない薬種：✓の付いた薬種は薬袋を印刷しません。

錠剤の単位：錠剤の用量に付ける単位を決めます。

カプセルの単位：カプセルの用量に付ける単位を決めます。

印刷順を逆にする：印刷される薬袋の順番を逆からにすることができます。

(例) 通常 A→B→Cの順番でプリンターから印刷されるのが、C→B→Aの順番で印刷できます。

印刷先を2セットにする：薬袋をプリンター2台に振り分けて印刷する時に使用。

印刷先を4セットにする：薬袋をプリンター4台以内に振り分けて印刷する時に使用。

小児用の印刷設定：設定した年齢より低い場合の印刷レイアウトを別に作成できます。

印刷順を処方入力優先にする：✓無の場合、薬種単位で印刷順を並べます。

✓有の場合、可能な限り処方どおりに並べます。

外用の印刷設定：外用薬専用の印刷レイアウトを別に作成できます。

注射の印刷設定：注射薬専用の印刷レイアウトを別に作成できます。

※以下からは、✓有の場合の説明です。

No.1 同一服用をまとめる：同一服用の薬品をレセコンで分けて入力していても、薬袋はまとめて発行します。

(例) 処方	A錠	3錠
	1日3回毎食後	14日分
	B錠	3錠
	1日3回毎食後	14日分

処方箋どおりに入力して、
同一服用の薬品も別々に用法をたてて入力した場合

【✓有】 A錠、B錠まとめて1枚の薬袋を作成。

【✓無】 A錠1枚、B錠1枚で2枚の薬袋を作成。

No.2 一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける：

【✓有】 一包化の連続巻き（縦割り）に対応した薬袋を作成します。

【✓無】 一包化の反復巻き（横割り）に対応した薬袋を作成します

(例) 処方 指示：全て一包化

A錠	2錠
1日2回朝・夕食後	14日分
B錠	3錠
1日3回毎食後	14日分
C錠	1錠
1日1回就寝前	14日分

【✓有】

<p>内服薬</p> <p>1日1回 朝食後</p> <p>1回1包</p> <p>A錠、B錠</p>	<p>内服薬</p> <p>1日1回 昼食後</p> <p>1回1包</p> <p>B錠</p>	<p>内服薬</p> <p>1日1回 夕食後</p> <p>1回1包</p> <p>A錠、B錠</p>	<p>内服薬</p> <p>1日1回 就寝前</p> <p>1回1包</p> <p>C錠</p>
---	--	---	--

朝食後・昼食後・夕食後・就寝前の4枚の薬袋に分けて印刷されます。

【✓無】

<p>内服薬</p> <p>1日4回 毎食後・就寝前</p> <p>1回1包</p> <p>A錠、B錠、C錠</p>
--

最大用法にまとめて印刷されます。

※食前は食前のみでまとめ、直前、直後は他とまとめません。

起床時と就寝前は食後といっしょにまとめます。

No.3 不均等の薬袋を別にする (単独にする) : 同一服用内に不均等で服用する薬品が含まれている場合、薬袋は別に印刷します。

※不均等…例) プレドニン錠 5mg 1日量 4錠 1日3回毎食後 (朝2錠・昼1錠・夕1錠)

No.4 外用の薬袋をまとめる : 同一服用の外用薬品は、同じ薬袋で印刷します。

部位の入力を用法とは別で入力してある場合は、部位も一致している場合に薬袋がまとまります。

No.5 最大薬袋を複数枚印刷する : 薬袋サイズ判定で、最大薬袋サイズの「単位」をも超えた場合に更にもう一枚同じ薬袋を印刷します。

※使用している薬袋用紙の最大サイズのものでも入りきらないとソフトが判断した場合に、同じ薬袋をもう1枚 (2枚、3枚…) と薬品が入りきれぬ枚数印刷させるかの設定です。

※1枚目、2枚目と印刷内容は同じです。日数分割などは行いません。

No.6 一包化時に、用量を1回1包とする : 一包化時に、服用時点に重なりがない薬品も一包化として判断します。(一包化入力した薬品のみ適用)

No.7 別袋指定のある薬品同士をまとめる : 薬品マスタで別袋指定にしてある薬品同士は同じ薬袋にまとめて印刷します。

No.8 用量の異なる薬品をまとめる : 1回服用量の異なる薬品も同じ薬袋に印刷します。

No.9 一薬品一薬袋とする : 全ての薬品を単独で一枚の薬袋に印刷します。

No.10 用量の横に薬品名を印字する : 薬品名を1回服用量の横に印字します。

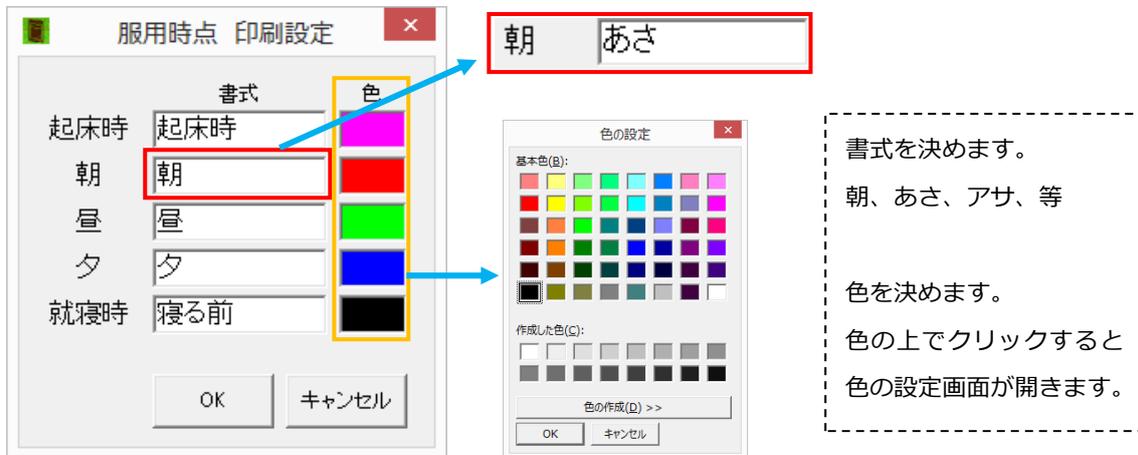
内服薬	A錠、B錠 内服薬
1日1回 朝食後	1日1回 朝食後
1回1錠 (A錠)	1回1錠
1回2錠 (B錠)	1回2錠
【✓有】	【✓無】

No.11 印刷前に一時停止する : [P30 参照](#)

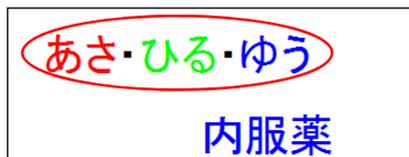
No.12 服用時点を印刷しない：「服用時点」の印刷をしません。

服用時点とは、起床時・朝・昼・夕・就寝前の区分に当てはまる場合に、用法とは別に服用時点「起床時・朝・昼・夕・就寝前」の印刷ができます。

オプション-印刷設定-服用時点の“書式”欄をダブルクリックすると下記画面が現れます。



印刷見本

**No.13 薬品名称を印刷しない**：薬品名称の印刷をしません。**No.14 医療機関・診療科目を印刷しない**：医療機関・診療科目の印刷をしません。**ポイント**

No.13 と No.14 は、患者マスタを利用して患者様単位で使用したりします。

通常はすべての患者様に薬品名を印刷しているが、特定の患者様だけ印刷しない等

No.15 最大薬袋を超える薬袋は印刷しない：薬袋サイズ判定で、最大薬袋サイズの「単位」をも超えた薬袋は印刷しません。

※使用している薬袋用紙の最大サイズのものでも入りきらないとソフトが判断した場合に、入りきらないものは薬局で別に用意して対応するので(手書きのマチ付き薬袋を利用する等)薬袋を印刷しないようにする設定です。

No.16 一包化時に、就寝前を分ける：「No.2 一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける」設定が✓無の場合、一包化の薬袋で通常“食後”とくっつく「就寝前」の薬袋を「就寝前」単独にして別で印刷します。

No.17 薬品名称を1行ごとに印刷する：薬品名を1剤につき1行で並べて印刷します。

<p style="text-align: center; color: blue;">内服薬</p> <p>1日1回 朝食後</p> <p style="color: red;">1回各1錠 A錠 B錠</p>	【✓有】	<p style="text-align: center; color: blue;">内服薬</p> <p>1日1回 朝食後</p> <p style="color: red;">1回各1錠 (A錠B錠)</p>	【✓無】	<p>用紙幅から判断して同じ行内に薬品名が納まるのなら薬品名を横並びで印刷していきます。</p>
--	------	---	------	--

No.18 薬袋区別 0=医師/1=診療科/2=病院/3=区別なし：

複数診療科掛かっている場合などで、同用法同日数をまとめるかの設定を行います。

0=医師 …医師が異なれば薬袋を分けます。

1=診療科 …診療科が異なれば薬袋を分けます。同じ科の医師違いはまとめます。

2=病院 …同じ病院であれば薬袋をまとめます。

3=区別なし…病院違いでも薬袋をまとめます。 ※現在対応レセコンなし。

No.19 薬袋を一袋で印刷する：複数枚ある薬袋を1枚にまとめて印刷します。

“印刷”✓の付いてある薬袋が対象です。

※用法、日数、1回量(全量)、薬品名は印刷されません。調剤日、患者氏名、医療機関名、診療科、画像ファイルのみが印刷されます。必要な情報は手書きで追記してください。

※薬袋リスト(発行画面)では臨時薬だけ薬袋が必要とのケースもあるので1枚にまとめていません。

よって「No.11 印刷前に一時停止する」を✓有にしている場合は薬袋リスト(発行画面)で「F9 発行」ボタンを押すと下画面が展開します。

発行選択

発行選択

薬袋

ラベル

手帳

薬情

一袋

Enter : OK

ESC : キャンセル

「薬袋を一袋で印刷する」:指定患者です

一袋で印刷する場合は、こちらの✓付けたまま「OK」を押します。

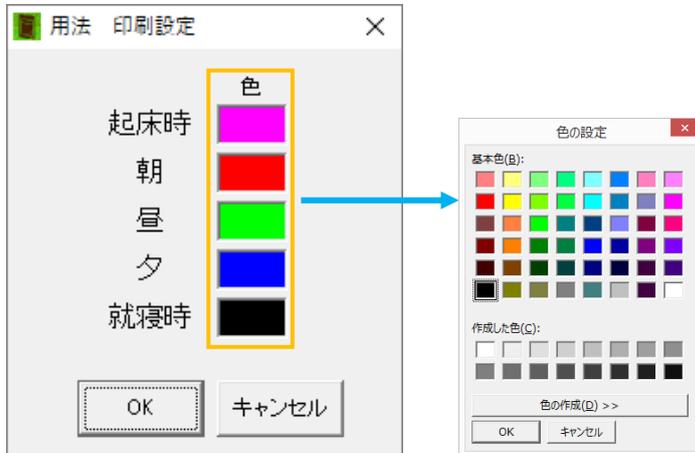
通常薬袋で発行する場合は、一番上の“薬袋”に✓を付け替えて「OK」を押します。

No.20 用法の「朝・昼・夕」に色をつける：用法の文字色を変更できます。

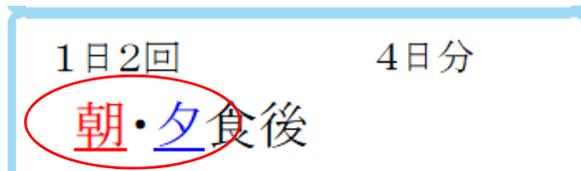
✓を付けたら印刷設定-用法の“書式”欄をダブルクリックできるようになります。



下記画面を出して色を選択します。用紙サイズ関係なく全て共通の設定となります。



印刷見本



※必ず下線が入ります。

※食後や食前などの文字色は印刷設定のフォントで設定しているままです。

※「毎食後」にしている場合は色が変わりません。

No.21 一包化用法「毎食」→「朝・昼・夕」：一包化時に、「朝・昼・夕」で印刷します。

※レセコン側で作成してある用法が「毎（食後、食前）」ではなく「朝・昼・夕（食後、食前）」では✓有にするのをお勧めします。

No.22 初期状態で薬袋の印刷チェック解除：レセコンから薬袋発行指示が来ても、薬袋をプリンターへ発行しません。

※一時停止画面を利用の場合は、“印刷✓”が外れて画面が停止します。

No.23～26 は薬品情報付モードで利用します。通常薬袋の利用では✓の有無はどちらでも構いません。 ※別途薬品情報付薬袋用のマニュアルを参照。

No.27 一包化時に散薬を含まない：粉薬は一包化に含まず別薬袋にします。

※薬品マスタで行う“一包外”の設定を粉薬に一括して行。

No.28 一包化をヒート扱い・服用時点毎にする：一包化指示の薬袋を一包化にせず、起床時、朝、昼、夕、就寝前の服用時点毎に分けた薬袋で作成します。P47 参照

No.29 一袋に用量と薬品名を印刷する：(No.19✓有) や (「F10:一袋」ボタン) で発行する一袋薬袋へ、用量と薬品名だけは印刷します。

No.30 は薬品情報付モードで利用します。通常薬袋の利用では✓の有無はどちらでも構いません。 ※別途薬品情報付薬袋用のマニュアルを参照。

No.31 ヒート薬品の就寝時を分ける：就寝前を用法から切り離して薬袋作成します。

例) 「2×朝食後・就寝前」→ 「1×朝食後」と「1×就寝前」の2枚に分けます。
「4×毎食後・就寝前」→ 「3×毎食後」と「1×就寝前」の2枚に分けます。

No.32 半錠表記を1回1包とする：1回服用量に小数点が付く場合の表記を変更します。

0.25錠→1回1包、0.5錠→1回1包

※「No.8 用量の異なる薬品をまとめる」を✓無(用量異なれば薬袋別)にしている場合、1錠の別薬品と0.5錠だと薬袋は別々となるのですが、0.5錠→1包だと“1同士”でまとまるようになります。

No.33 一包化とヒートの同一服用をまとめる：一包化と一包化除外の同一服用は薬袋をまとめます。

No.34 別包区分を有効にする：レセコンからの別包指示を有効にします。

※別包指示に対応していないレセコンメーカーもございます。

No.35 服用指示の異なる用法をまとめる：服用法が同じであっても印刷項目の服用指示が異なる場合は薬袋を別に作成します。

※服用指示=用法コメント

用法コメントは、ほとんどのレセコンメーカーで外用部位や曜日指定などの用法とは別に入力されたコメントに該当します。

(例) 処方	A錠	2錠	
	①4/10～16に服用		←用法コメント
	<u>1日1回朝食後</u>	7日分	
	B錠	1錠	
	②4/17～23に服用		←用法コメント
	<u>1日1回朝食後</u>	7日分	

【✓有】 A錠、B錠まとめて1枚の薬袋を作成。 ※No.1設定✓有の場合

【✓無】 A錠1枚、B錠1枚で2枚の薬袋を作成。

※【✓無】外用薬はNo.4設定✓有だと、部位が異なれば薬袋をまとめません。

ポイント

No.9、19、22、28設定は、システム設定内では✓が付かず、患者マスタを利用して患者単位で設定を行って下さい。

全ての設定が終了したら、「適用」を押して「OK」で終了。

V. 薬袋サイズの判定

1. 薬袋のサイズを判定する為の「単位」を決める

※本ソフトウェアでは、薬袋の大きさや薬の大きさを「単位」であらわします。

オプション ⇒ システム設定 ⇒ 薬袋サイズ判定

薬袋の大きさ：使用する薬袋用紙サイズで単位が変わります。P15 参照

薬の大きさ：錠剤 1 錠、カプセル 1 個、散薬用紙 1 包、一包用紙 1 包の単位を決めます。

P16 参照

↑※この数値を変更するとシステム全ての計算に影響します。

導入時設定後は薬局独自に変更されないことをお勧めします。

使用薬品 初期値：頓服、外用薬、一包化時の薬袋サイズを一律にしておく事ができます。

自動を選択してあれば、通常通りの計算を行います。

全ての設定が終了したら、**適用** を押して、**OK** で終了。

<薬袋用紙サイズと単位数>

B 6 サイズ	S サイズ 縦 190×幅 128	M サイズ (A 5)	M L サイズ 縦 229×幅 164	B 5 サイズ	L サイズ (A 4)
薬袋に少し余裕をもたせて薬品を入れる場合					
505 単位	505 単位	840 単位	1110 単位	1680 単位	2700 単位
薬の大きさ : 錠剤 3、カプセル 6、散薬用紙 25、一包用紙 30					
薬袋にきっちり薬品を入れる場合					
420~505 単位	420~505 単位	840 単位	1050~1110 単位	1580~1680 単位	2520~2700 単位
薬の大きさ : 錠剤 2.5、カプセル 5、散薬用紙 25、一包用紙 25					

※あくまでも推奨する設定値です。

※S サイズ、ML サイズは「Windy 社オリジナル薬袋用紙」の規格です。

***** 薬袋サイズ判定の計算式 *****

処方

A 錠	2 錠
1 日 2 回朝・夕食後	2 8 日分
B 錠	3 錠
C カプセル	3 C
1 日 3 回毎食後	2 8 日分

(薬袋に少し余裕をもたせて薬品を入れる場合)

上記処方の場合、「朝・夕食後」と「毎食後」の 2 枚の薬袋が印刷されます。

「朝・夕食後」の薬袋は、A 錠が総量 5 6 錠入るので、

56 錠×錠剤の単位 3=168 単位 となります。

「毎食後」の薬袋は、B 錠が総量 8 4 錠、C カプセルが総量 8 4 個入るので、

B 錠 84 錠×錠剤の単位 3=252 単位

C カプセル 84 個×カプセルの単位 6=504 単位 となり、

足して 756 単位となります。

小袋の「単位」の限度は 505 単位までなので、

A 錠の「朝・夕食後」の薬袋は 168 単位でそれに満たないので**小袋**が 1 枚印刷されます。

B 錠と C カプセルの「毎食後」の薬袋は 756 単位が**小袋**の「単位」の限度 505 単位を上回りますが、**中袋**の「単位」の限度 1110 単位には満たないので**中袋**が 1 枚印刷されます。

2.あらゆる形状の薬品も、薬品ごとに「単位」を設定

錠剤でもカプセル剤でも、薬品によってヒートサイズに大きな違いがあるので、その薬品ごとに適した「単位」の設定ができます。

オプション ⇒ 薬品マスタ マテ ⇒ 薬品を検索

⇒ 大きさの欄に数値を入力する ⇒ **閉じる** を押して終了

検索条件												保存・復元				
薬品名	ツムラ炙甘草湯											保存				
薬品略称		薬品コード		検索	クリア											復元
コード	略称	名称	単位	大きさ	薬袋	別袋	計量	ラベル	一包外	規定量	期限	薬種	コメント			
ツシヤカ		ツムラ炙甘草湯エキス顆粒		20			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>							

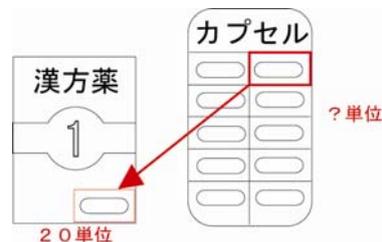
(例) 錠剤	プロパール	5.5(5~6)	カプセル	タマックE	初期設定 4の時→5	5の時→6
	コソル	5.5(5~6)		EPL	初期設定 4の時→5	5の時→6
	スローケー	5.5(5~6)		IPモデル	初期設定 4の時→5	5の時→6
	サラピリン	5.5(5~6)				
散薬	セルバックス細粒	8	プロマック	8	マーズレン	10
	ビオフェルミン	10	ピーマーゲン	10 または 12	アルミン	10
	マロックス懸濁液	10 または 12			アデホスコワ顆粒	12
	クレミン	30	クレミン	30		
外用	セルバントデイスカス	500	フルタイトデイスカス	500	パルミコートタービュラー	250
	初プロコト軟膏	36				

※上記に無い散薬のヒート品については、上記と大きさを比較し、数値を決めて下さい。

(例) ラックビー微粒はビオフェルミンと同じくらいなので「10」と設定。

※上記サイズはあくまでも参考値です。

※「単位」の大きさは、薬品の体積比率で考えて下さい。漢方薬1包のサイズを20単位としてあるので、それを基準にして下さい。



■外用薬品のサイズ判定

外用薬の「単位」は、デフォルトでは処方量となります。

多くの外用薬がデフォルト設定のまま（小袋が選択されやすい）でご利用いただけるはずですが、吸入剤や点鼻薬、大きめサイズの軟膏剤などを薬品マスタから設定しておくことをお勧めします。

※ご利用の薬袋サイズによって状況は変わります。

例) フルタイド 100 ディスカス 100 μ g 60 ブリスター 薬価単位 1 個

に大きさの「単位」設定をする場合

デフォルト設定の状態では 1 個処方された場合の「単位」は“ 1 ”です。大きさに言えば小袋の「単位」の限度が 420 では 420 個処方されても小袋が選択されます。

「単位」を考える前に、小袋には 1 個まで、中袋には 2 個までと希望のルールを決めます。小袋の「単位」の限度が 420、中袋が 1050 だとしたら、小袋の 420 で 2 個入らない数値を考えます。200 としてしまつては、 200×2 個で 400 となり 2 個でも小袋が選択されてしまうので、211~420 までの数値が適していると言えます。次に中袋のことを考えます。中袋も同じように 3 個入らない数値を考えます。その時に小袋のことも踏まえ 211~420 の数値で考えます。300 としてしまつては、 300×3 個で 900 となり 3 個でも中袋となるので、351~420 の数値が適していると考えます。よって、はじめに決めたルールでサイズ判定させる場合には、351~420 の数値を薬品マスタで設定行います。

VI. 薬品マスタの活用

オプション ⇒ 薬品マスタ マネ

コード	略称	名称	単位	大きさ	薬袋	別袋	計量	ラベル	一包装	規定量	期限	薬種	コメント
アト04		アクトス錠15											
アスハ11		アスヘリンシロップ0.5%											
エヒソ		エヒスタ錠60mg											
オイウ02		オイダルコン錠2.5mg											
オルメ01		オルメテック錠10mg											
カスモ03		ガスモチン錠5mg											
カカエ05		(局)カカフェイン「ホエイ」											
カカコ03		カカコデン配合錠											
カルナ02		カルナクリン錠50IU											
カナナ95		カナナール錠200											
クラリ04		クラリス錠200mg											
セフソ04		セフゾン細粒小児用10%											
セルハ02		セルバックスカプセル50mg											
ソラン02		ソランタール錠100mg											
タケブ02		タケブロンカプセル15mg											
タケブ03		タケブロンOD錠15											
タミフ01		タミフルカプセル75											
チラチ01		チラーヂンS錠 50											
ツツヤカ		ツムラ痰甘草湯エキス顆粒		20									
デハス01		デハス錠0.5mg											
テルネ01		テルネリン錠 1mg											
トラン09		トランザミン錠250mg											
ニロ11		ニロールRカプセル 20mg											
ノボラ07		ノボラピッド30ミックス注ペンフィル											
ノルハ03		ノルバスク錠 2.5mg											
ノイマ01		ノイマフルド											

検索条件を入れて検索し、薬品を絞り込んでから設定します。

※NSIPS 連動では略称がとんできません。薬品名か薬品コードで検索してください。

薬品名は正式名称です。酸化マグネシウムの場合、「サンカ～」ではなく「酸化～」で検索してください。

薬品名の先頭に(局)や記号が付いている薬品などで、うまく検索に引っ掛からない薬品は、先頭に* (全角アスタリスク) を付けると部分一致検索が行えます。

コード	略称	名称
カカエ05		(局)カカフェイン「ホエイ」

単位：印刷する用量の単位を変更できます。

基本はレセコンから出力される単位で印刷します。粉薬は「包」。

※錠剤とカプセルのデフォルト単位は、[オプション ⇒ システム設定 ⇒ 拡張](#) にて設定します。

大きさ：P16 参照

薬袋：あらかじめ固定の薬袋サイズを設定できます。“なし”を選択した場合は、その薬品の薬袋は印刷しません。

※湿布薬、水薬、器具、容器等の薬袋は、初期導入の際に有無を確認して設定します。

別袋：数字を入れます。数字を入れた薬品は薬袋を単独で印刷します。

(例) 糖尿病薬を同用法・同日数の他薬品とは別に薬袋を印刷する場合。

※数字の番号が同じもの同士は、システム設定の「No.8 用量の異なる薬品をまとめる」を✓有にしている場合に薬袋がまとまります。

計量：P21 参照

ラベル：ラベル印刷します。別途水薬ラベルマニュアルを参照

一包外：レセコンからの指示では一包化となっている薬品でも、✓が付いた薬品は一包化から自動で外れます。 = ヒート扱いになります。

(例) 吸湿性の問題等でほとんどの場合一包化しない薬品。

※設定した薬品を一包化に入れる患者様がいる場合は、患者マスタ (P.22) を利用してください。

規定量：P20 参照

期限：設定した使用期限を印刷できます。

(例) アンヒバ小児用坐薬の使用期限を薬局判断で調剤日より2ヶ月にするとします。

その場合“60”という数値を設定します。そうすると、調剤日がH25/05/08の場合、薬袋に60日後の「使用期限：2013年7月7日まで」と印刷されます。

薬種：設定した薬種の時だけ、設定したコメントの印刷がされます。

(例) カロナールを頓服で処方された時だけ「6時間間隔をあけてください」とコメント印刷したい場合、ここに“頓服”の設定をし、次のコメントの設定をします。

コメント：薬品ごとに薬品コメントの設定ができます。

※オプション ⇒ システム設定 ⇒ 薬品別コメント から、定型文を最初に作成できます。

各薬品の“略称”か“名称”の欄をダブルクリックすると、薬品詳細画面が開きます。

この画面からしか行えない設定が2か所あります。

印刷用名称：薬袋に印刷する名称を編集できます。

印字薬種：薬種タイトルを薬品ごとに設定できます。

※設定している薬品が同薬袋に複数ある場合は、一番上に入力された薬品の設定内容が反映されます。

- 薬品にヒート規定量を設定することで、包装規格がいくつもある薬品の1回服用量の認識を正しく求めたり、薬袋サイズの判定をより正確に行うことができます。
(整数が大きいものを優先に計算します)

オプション ⇒ 薬品マスタ 設定

- ⇒ 設定を行う薬品を検索する
- ⇒ 規定量のところで、ダブルクリックすると上の画面が現れます
- ⇒ ヒート規定量の欄にその薬品の規定量(包装量)を入れる
- ⇒ 大きさの欄に薬袋サイズ判定の「単位」(大きさ)を入れる
※通常のサイズ計算でよければ、空白のまま構いません。
- ⇒ を押して終了

※粉薬はなにも設定していなければ“何g”であっても1回量を「1回1包」で印刷します。
したがって、1回量を必ず1包でしか服用しない粉薬にはヒート規定量の設定は必要ありません。しかし、1回量を2包以上で服用することがある粉薬はヒート規定量の設定が必要となります。

例えば、規定品の1gしか薬局に置いていない粉薬が1回に2g服用するよう処方された場合、バラ分包することなく1g包装を2包お渡しするように決めている薬局では、その判断を薬袋印刷に反映させるために規定量の設定をします。

(例) アローゼンが0.5g包装しか薬局にない場合。ヒート規定量で0.5と設定。

処方 アローゼン 1g
1日1回朝食後 14日分

1回量が1gなので、1包が0.5gだと1回に2包服用だと判断して、
「1日1回朝食後 14日分 1回2包」と印刷します。

※規定量に入れる数字は薬価単位に準じます。レセコンでの入力も単位が包の粉薬などは包装規格のg数ではなくて1包の“1”と入れます。

VII. 粉薬の混合

計量混合した粉薬を1包と認識させ薬袋を出すには、あらかじめ以下の設定が必要です。

オプション ⇒ 薬品マスタメンテ



コード	略称	名称	単位	大きさ	薬袋	別袋	計量	レベル	一包外	規定量	期限	薬種	コメント
ロバキシ02		ロバキシ顆粒90%					計量		<input type="checkbox"/>				

- ⇒ 薬局内で計量混合を行うと考えられる粉薬を検索します
- ⇒ 該当薬品の“計量”欄に✓を付けます
計量混合することが考えられる全ての粉薬に付けていきます。

この設定を行うことにより、✓の付いた粉薬同士が同じ用法内にあった場合には、その粉薬同士は計量混合したと判断します。

※混合と判断した薬袋は、薬袋サイズの判定と、1回服用量の印字内容が変わります。

(例1) 粉薬A (✓有)	1 g
粉薬B (✓有)	1 g
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>7日分</u>

この場合はAとBを混合したと判断。

薬袋1枚、「1日2回朝・夕食後、7日分、1回1包」で印刷します。

薬袋サイズは、散薬用紙を14包入れるものとして計算します。

(例2) 粉薬A (✓有)	1 g
粉薬B (✓有)	1 g
粉薬C (✓無)	1 g
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>7日分</u>

この場合はAとBを混合、Cは単独と判断。

同用法なので薬袋は1枚、「1日2回朝・夕食後、7日分、1回各1包(2種類)」で印刷します。

薬袋サイズは、散薬用紙を28包入れるものとして計算します。

(例3) 粉薬A (✓有)	1 g
粉薬C (✓無)	1 g
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>7日分</u>
粉薬B (✓有)	1 g
<u>1日1回朝食後</u>	<u>7日分</u>

この場合はすべて単独と判断。

薬袋2枚、「1日2回朝・夕食後、7日分、1回各1包(2種類)」1枚と、「1日1回朝食後、7日分、1回1包」が1枚で印刷します。

(例4) 粉薬A (✓有)	1 g
粉薬B (✓有)	1 g
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>7日分</u>
粉薬D (✓有)	1 g
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>7日分</u>

※AとBのみを混合して、Dはこの処方上では混合しないとする場合、入力の仕方をA、BとDを同用法であっても別入力してください。

この場合はAとBを混合、Dは単独と判断。

薬袋1枚、「1日2回朝・夕食後、7日分、1回各1包(2種類)」で印刷します。

薬袋サイズは、散薬用紙を28包入れるものとして計算します。

※薬袋をA、BとDの2枚に分けたい場合は、システム設定 or 患者個別設定で「No.1 同一服用をまとめる」の✓解除が必要です。

Ⅷ. 患者マスタの活用

オプション ⇒ 患者マスタ メン

患者マスタ メンテナンス

検索条件

フリガナ 患者ID 生年月日

氏名 外字あり

検索 クリア

保存・復元
保存
復元

ID	フリガナ	氏名	性別	生年月日	個別設定	一包化	一包化外	薬品別
00001	カンザ 知ウ	患者 太郎	男	S281010	○			
00002	カンザ シロウ	患者 次郎	男	S320101				
00003	カンザ サカウ	患者 三郎	男	S140922				
00004	カンザ シロウ	患者 四郎	男	S080426				
00005	カンザ イツコ	患者 五子	女	S040815	○			
00006	カンザ ロ知ウ	患者 六郎	男	S051030				
00007	カンザ ナナコ	患者 七子	女					
00008	カンザ ハチコ	患者 八子	女					
00009	カンザ 知ウ	患者 九郎	男					
00010	カンザ シュウコ	患者 十子	女	S460503				

ダブルクリック

削除 閉じる

⇒ 設定する患者様を検索し、出てきた患者氏名の上などをダブルクリックします。

選択した患者様の詳細画面が展開するので、各種設定タブを切り替えて設定します。

患者情報 詳細

患者情報 一包化グループ 一包化外指定・解除 薬品別コメント

患者情報…「システム設定-拡張」で決めた薬袋発行のルールを個別に変更できます。

一包化グループ…通常は同じ服用時点でまとめて作成する一包化の薬袋を、薬品にグループ番号を設定して別々の薬袋に分けることができます。

整腸剤だけ別分包、糖尿病薬だけ別分包しているなどのケースで設定します。

一包化外指定・解除…レセコン側で行った一包化指示を薬袋ソフト側で変更行う場合、薬品マスタで一包化外すと設定している薬品を患者個別で解除する場合に設定します。

薬品別コメント…患者個別で薬品コメントを設定できます。

(患者情報) の設定方法

患者情報 詳細

患者情報

患者ID 00001

フリガナ カンジャ タロウ

氏名 患者 太郎

生年月日 S281010

性別 男

特記事項

特記事項 設定

個別設定 個別設定を使用する 初期値設定

No	SW	オプション
1	<input checked="" type="checkbox"/>	同一服用をまとめる
2	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける
3	<input checked="" type="checkbox"/>	不均等の薬袋を別にする(単独にする)
4	<input type="checkbox"/>	外用の薬袋をまとめる
5	<input checked="" type="checkbox"/>	最大薬袋を複数枚印刷する
6	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、用量を1回1包とする
7	<input checked="" type="checkbox"/>	別袋指定のある薬品同士をまとめる
8	<input checked="" type="checkbox"/>	用量の異なる薬品をまとめる
9	<input type="checkbox"/>	一薬品一薬袋とする
10	<input checked="" type="checkbox"/>	用量の横に薬品名を印刷する
11	<input checked="" type="checkbox"/>	印刷前に一時停止する
12	<input checked="" type="checkbox"/>	服用時点を印刷しない
13	<input type="checkbox"/>	薬品名称を印刷しない
14	<input type="checkbox"/>	医療機関・診療科目を印刷しない
15	<input type="checkbox"/>	最大薬袋を超える薬袋は印刷しない
16	<input type="checkbox"/>	一包化時に、就寝前を分ける
17	<input checked="" type="checkbox"/>	薬品名称を1行ごとに印刷する
18	0	薬袋区別 0=医師/1=診療科/2=病院/3=区別なし
19	<input checked="" type="checkbox"/>	薬袋を一袋で印刷する
20	<input type="checkbox"/>	用法の「朝・昼・夕」に色をつける
21	<input type="checkbox"/>	一包化用法「毎食」→「朝・昼・夕」
22	<input type="checkbox"/>	初期状態で薬袋の印刷チェック解除
23	<input type="checkbox"/>	薬性を印刷しない
24	<input type="checkbox"/>	手帳を印刷しない
25	<input type="checkbox"/>	薬袋「なし」のみ、薬性を印刷する
26	<input type="checkbox"/>	薬種・用法を印刷する
27	<input type="checkbox"/>	一包化時に散薬を含まない
28	<input type="checkbox"/>	一包化をヒート扱いし服用時点毎にする
29	<input type="checkbox"/>	一袋に用量と薬品名を印刷する
30	<input type="checkbox"/>	後発品の案内:薬品マスタに登録されている薬品を「在庫あり」と
31	<input type="checkbox"/>	ヒート薬品の就寝時を分ける
32	<input type="checkbox"/>	半錠表記を1回1包とする

★ 要注意 ★

「個別設定を使用する」に✓を付けたら、必ず「初期値設定」を押して下さい。押すと設定がシステム設定と同じ値になりますので、それから設定を行います。

OK キャンセル

- ① 「個別設定を使用する」に✓を付けたら、横にある「初期値設定」ボタンが押せるようになるので必ず押します。
- ② 拡張機能の✓の付け外しをします。

使用例)

ほとんどの一包化の患者様で反復巻きをしているのだが、この方は連続巻き。→No.2

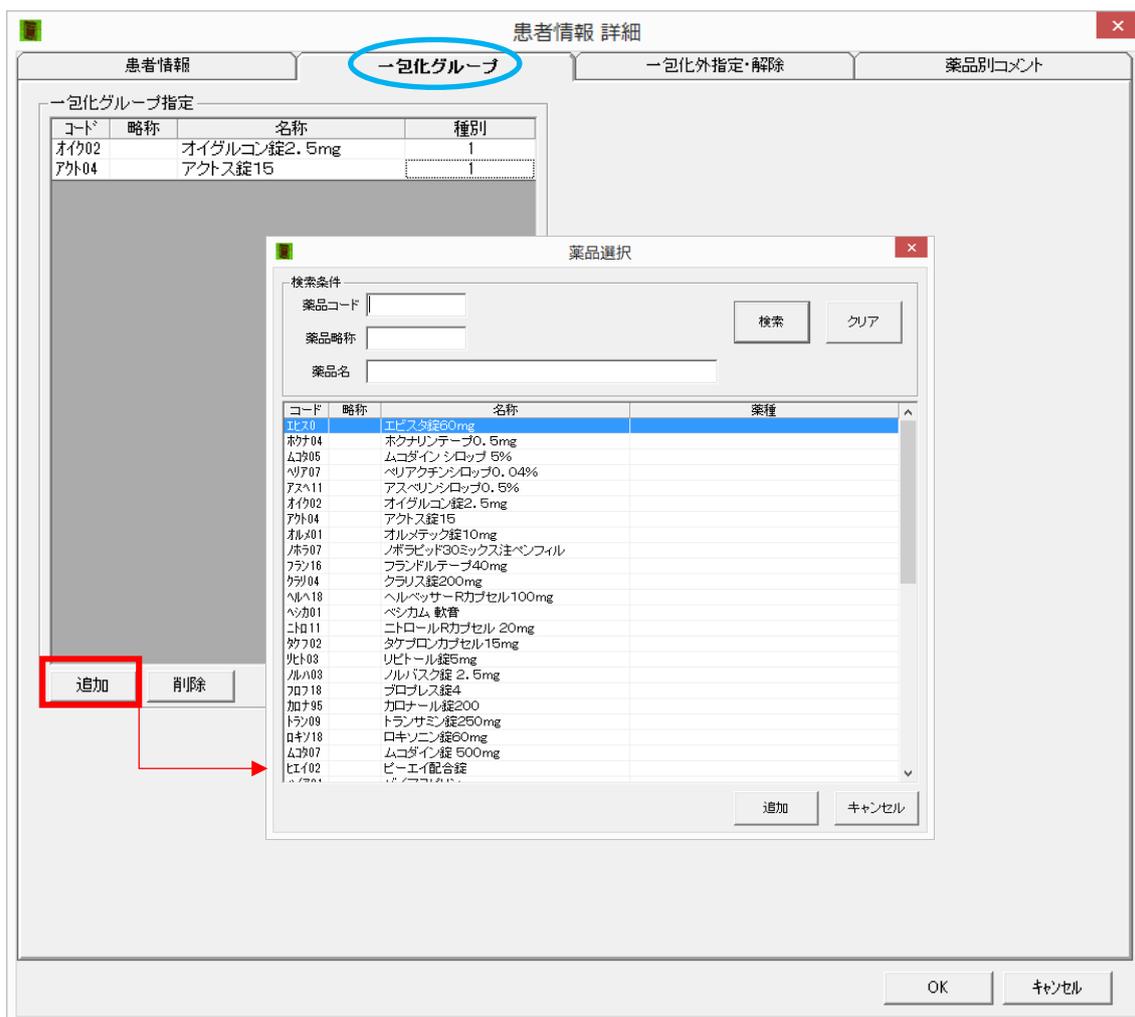
この患者様は一薬品一薬袋を希望。→No.9

処方薬品が多すぎて、薬品名のタテ印字だと印刷が薬局名と重なる。→No.13、No.17

この患者様はひとつの袋にまとめるのを希望。→No.19

P 40「XI.よくある問い合わせ」にいくつかの設定例を載せてあります。ご参考ください。

(一包化グループ) の設定方法



一包化薬袋作成の基本ルールは、「日数が同じであること」、「起床時・朝・昼・夕・就寝前の服用区分があること」、「食前・食間・食後・食直前・食直後の服用区分があること」、これら条件が重なる薬品が一包化に適した形ですべてまとまります。ですが、その条件が重なる薬品を別々に分包する患者様がいる場合はここで設定します。

- ① 「追加」 → 薬品選択画面が開くので、薬品を選択して「追加」。
- ② 種別にグループ番号となる数字を入力します。この数字が同じ薬品同士が一包化時まとまります。

ポイント

何も設定していない薬品をひとつのグループとして考えます。なので、数が少ない方のグループ薬品を設定の方が設定は楽になります。

一包化グループの設定を取り消す場合、薬品を選択して「削除」を押して下さい。

（一包化外指定・解除）の設定方法

一包化外薬品指定

- ① 「追加」→ 薬品選択画面が開くので、この患者様だけの一包化外薬品を選択します。
 (※薬品マスタで設定してある薬品以外を選択)
 一包化外薬品の設定を取り消す場合、薬品を選択して「削除」を押して下さい。
 ※一包化外薬とは？ (P19 一包外を参照)

一包化外薬品解除

- ① 「追加」→ 薬品マスタで一包化外薬品に設定してある薬品の一覧が開くので選択します。

薬品マスタの一包化外薬品指定を、全て解除する：

薬品マスタで“一包外”の✓が付いた薬品を全て解除します。

一包化：レセコンからの指示に関係なく、内服を一包化する：

✓有の場合、レセコンからの一包化指示の有無に関係なく一包化薬袋を作成します。
 次ページのフローチャートを参照ください。

※一包化の加算算定のみが一包化薬袋の指示となるレセコンをご利用のお客様が主に利用します。

一包化指示

① レセコンからの一包化指示有り



② 患者マスタ 一包化：レセコンからの指示に関係なく、内服を一包化する ✓無



③ レセコンからの指示通りに一包化します。

② 患者マスタ 一包化：レセコンからの指示に関係なく、内服を一包化する ✓有



③ レセコンからの指示関係なく、全ての内服薬を一包化します。

① レセコンからの一包化指示無し



② 患者マスタ 一包化：レセコンからの指示に関係なく、内服を一包化する ✓無



③ レセコンからの指示通り。=一包化しない

② 患者マスタ 一包化：レセコンからの指示に関係なく、内服を一包化する ✓有



③ レセコンからの指示関係なく、全ての内服薬を一包化します。

※薬袋ソフトの“一包外”設定はすべて反映されます。

(薬品別コメント) の設定方法

コード	略称	名称	コメント
効702		タケロンカプセル15mg	胃・十二指腸潰瘍
エヒ50		エビスタ錠60mg	骨粗鬆症

追加 削除

OK キャンセル

患者様単位で薬品コメントの設定ができます。

※オプション → システム設定 → 患者別コメント から、定型文を最初に作成できます。

- ① 「追加」 → 薬品選択画面が開くので薬品を選択して「追加」
→ コメント欄をダブルクリックして定型分を選択するか、手入力でコメントを入力。

患者特記事項の登録

患者情報画面にある「特記事項」へコメントを登録しておけば、薬袋リスト(発行画面)で情報を確認することができます。

薬袋に関する患者様ごとの情報は薬袋ソフトで管理が行えます。

The screenshot shows the '患者情報 詳細' (Patient Information Details) window. The '特記事項' (Special Remarks) field contains the text '薬品一つに薬袋1枚' (One medicine, one bag). A red box highlights this field, and a blue circle highlights the '特記事項 設定' (Special Remarks Settings) button. An arrow points from this button to a 'Font' dialog box. The 'Font' dialog shows 'MS Gothic' selected with a size of 11. A dashed box contains the following text:

「特記事項 設定」ボタンから、フォント種類や文字サイズを変更できます。
※但し、ここでする設定は全ての患者様共通です。

薬袋リスト(発行画面)の右上にコメントが表示されます。

The screenshot shows the '薬袋印刷 - [薬袋リスト]' (Medicine Bag List) window. The patient information at the top includes '患者ID: 00007', '患者氏名: 患者 七子', '性別: 女', and '生年月日: S30/12/30(58)'. The special remark '薬品一つに薬袋1枚' is displayed in the top right corner, highlighted by a pink box. Below this is a table of medicine bags:

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	6日分	1日3回	毎食後	1回1錠			フロモックス錠100mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	6日分	1日3回	毎食後	1回1錠			ロキソニン錠60mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	6日分	1日3回	毎食後	1回1錠			ガスモチン錠5mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	3日分	1日2回	朝・夕食後	1回2錠			(局)ブレドニゾン錠「タケダ」5mg
5	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	3日分	1日1回	朝食後	1回2錠			(局)ブレドニゾン錠「タケダ」5mg

IX. 印刷時の手順

1. ボタンひとつで薬袋を発行。確認画面を使えば、必要に応じて薬袋の有無、枚数・サイズの変更、編集が行えます

薬袋ソフトヘータを送る手順は、レセコンメーカーによって異なります。

システム設定-拡張で「No.11 印刷前に一時停止する」にしておけば、レセコンからのデータ出力後に薬袋リスト(発行画面)が現れ、必要に応じて枚数、薬袋の有無、その他編集作業が行えます。

薬袋印刷 - [薬袋リスト]

修正 患者ID 00001 患者氏名 患者 太郎 性別 男 生年月日 S28/10/10(60)

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日2回	朝・夕食後	1回1錠			クラリス錠200mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠 1回各1錠(3種類)			ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg ロキソニン錠60mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	5回分		熱が高いとき	1回2錠			トランサミン錠250mg カロナール錠200

✓付け外しやサイズ変更、テキストの直接編集が可能です。

最終的な処理は下記3つのボタンから行います。

「ESC:中止」…発行せずに画面を閉じます。

「F9:発行」…印刷に✓が付いた薬袋をプリンターから発行します。

「F10:一袋」…一袋で薬袋を発行します。(P11、P31 参照)

ESC 中止 F1 編集 F2 薬袋挿入 F3 薬袋削除 F4 移動 F5 混合 F6 分割 F7 プレビュー F8 F9 発行 F10 一袋 F11 サイズ↑ F12 サイズ↓

「F7:プレビュー」から選択中(黄色い帯がかかっている)の薬袋を印刷前に画面上で見ることができます。

印刷：✓の付いたものが印刷されます。

大きさ：直接マウスでダブルクリックして薬袋サイズの変更ができます。

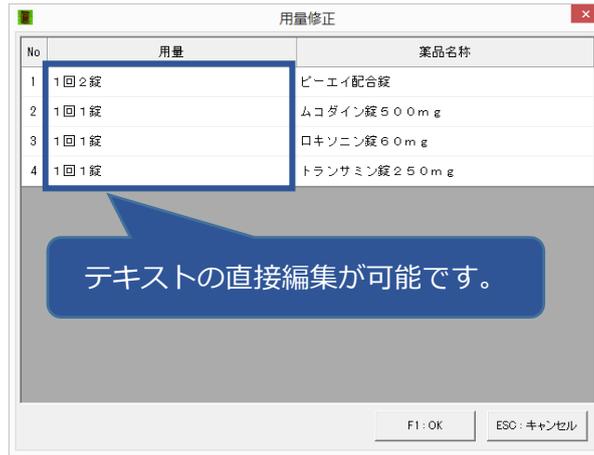


ファンクションキーでの変更は「F11:サイズ↑」と「F12:サイズ↓」を押します。

枚数、日数、回数、用法：

直接マウスでダブルクリックすればカーソルが現れるので、テキストの編集が行えます。
枚数は数字を変更すれば印刷枚数が変わります。

用量：直接マウスでダブルクリックすれば用量修正画面が開くので、用量の編集が行えます。



混合：(P33 参照)

選択：(P33 参照)

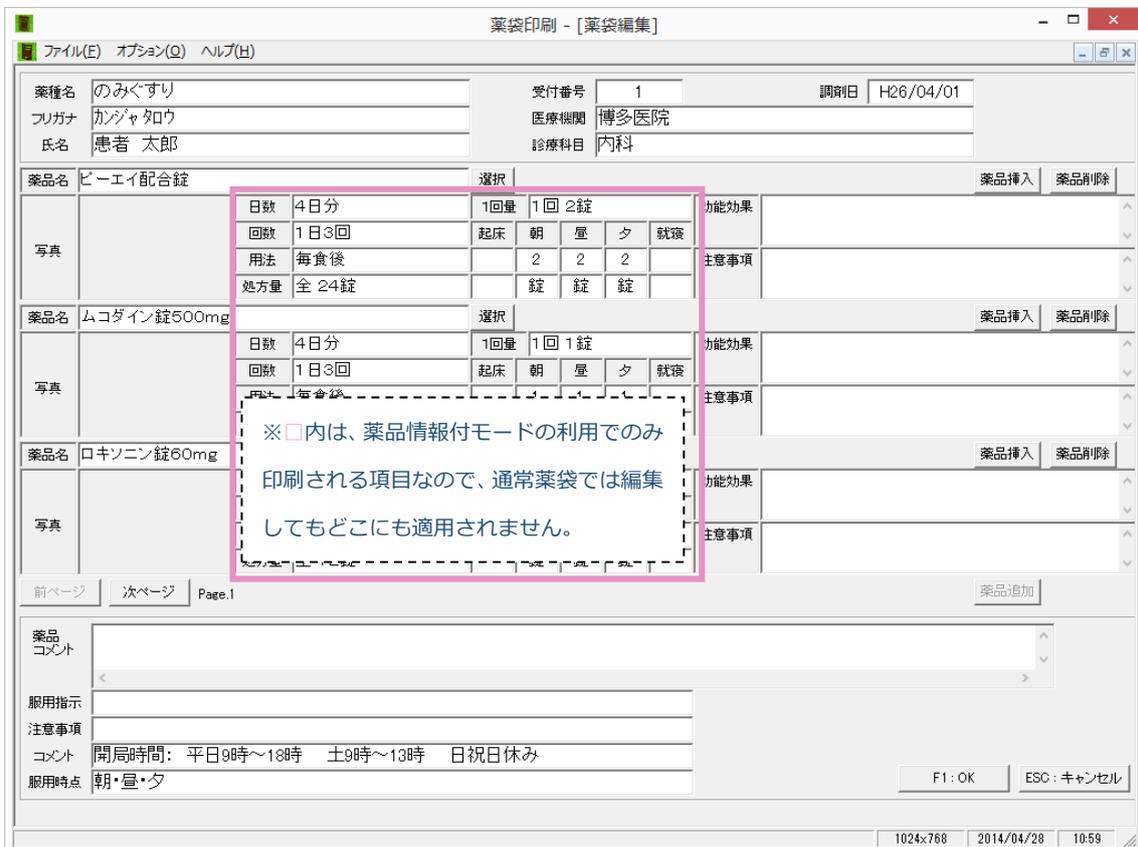
薬品名称：ここで直接の編集はできません。薬品名称の編集は「F1:編集」から行えます。

■ その他編集



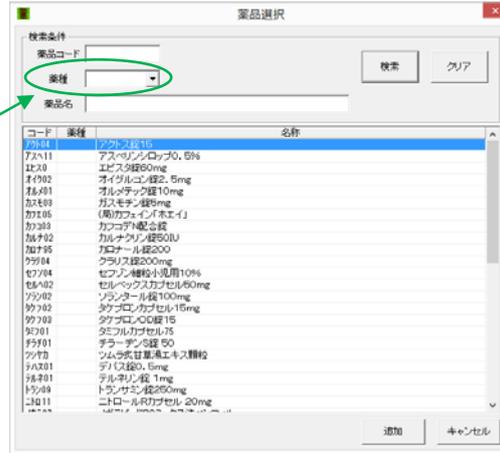
「F1：編集」：編集画面が現れ、印刷内容の編集が行えます。テキストを直接編集。

編集内容は、薬袋リスト画面を閉じるとすべてクリアされます。



「F2：薬袋挿入」…新規で薬袋を作成できます。

- ② 「F2：薬袋挿入」を押すと薬品
選択画面が展開します。
- ① 薬種を選択します。
- ③ 薬品を選択して「追加」。



- ④ 空の薬袋が追加されているので、サイズ選択し、日数・用法・用量などを手入力します。

※ 「F2:薬袋挿入」は、薬品選択時は「F2:薬品挿入」に変わります。選択している薬品の下(同じ薬袋の中)に薬品を追加できます。

「F3:薬袋削除」…指定した(黄色い帯がかかっている)薬袋を削除します。

※ 「F3:薬袋削除」は、薬品選択時は「F3:薬品削除」に変わります。選択している薬品を削除します。

「F4:移動」…薬品を“選択”したらボタンが表示されます。(下記参照)

「F5:混合」…薬品を“選択”したらボタンが表示されます。(下記参照)

「F6:分割」…薬品を“選択”したらボタンが表示されます。(下記参照)

混合	選択	薬品
	<input checked="" type="checkbox"/>	クラリス錠200mg
	<input type="checkbox"/>	ビーエイ配合錠
	<input type="checkbox"/>	ムコダイン錠500mg
	<input type="checkbox"/>	ロキソニン錠60mg
	<input type="checkbox"/>	トラキサミン錠250mg
	<input type="checkbox"/>	カロナール錠200

薬品名称の左横にある「選択」項目はマウスでクリックするとマークが付きます。

選択した状態で、ファンクションキーから指示を出すと薬品の移動や薬袋の分割処理が可能です。

～薬品の移動～

移動したい薬品を“選択”し、移動先の薬品(その薬品下に移動する)を指定します。

混合	選択	薬品
	<input checked="" type="checkbox"/>	クラリス錠200mg
	<input type="checkbox"/>	ビーエイ配合錠
	<input type="checkbox"/>	ムコダイン錠500mg
	<input type="checkbox"/>	ロキソニン錠60mg
	<input type="checkbox"/>	トラキサミン錠250mg
	<input type="checkbox"/>	カロナール錠200

混合	選択	薬
	<input checked="" type="checkbox"/>	クラリス錠200mg
	<input type="checkbox"/>	ビーエイ配合錠
	<input type="checkbox"/>	ムコダイン錠500mg
	<input type="checkbox"/>	ロキソニン錠60mg
	<input checked="" type="checkbox"/>	トラキサミン錠250mg
	<input type="checkbox"/>	錠200



「F4:移動」で薬品が移動します。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠 1回各1錠(4種類)			ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg ロキソニン錠60mg トランサミン錠250mg クラリス錠200mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	5回分		熱が高いとき	1回2錠			カロナール錠200

～薬袋の分割～

混合	選択	薬品
		クラリス錠200mg
クリック		錠
		ムコダイン錠500mg
選択		ロキソニン錠60mg
選択		トランサミン錠250mg
		カロナール錠200

「F6:分割」で薬袋を分割します。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日2回	朝・夕食後	1回1錠			クラリス錠200mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠 1回各1錠			ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	5回分		熱が高いとき	1回2錠			カロナール錠200
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回各1錠(2種類)			ロキソニン錠60mg トランサミン錠250mg

一番下に分割した薬品の薬袋が作成されます。

～粉薬の混合～

粉薬の混合判断は、薬品マスタの“計量”√有無で行うものですが、一時的な混合であれば薬袋リスト(発行画面)でも行うことができます。

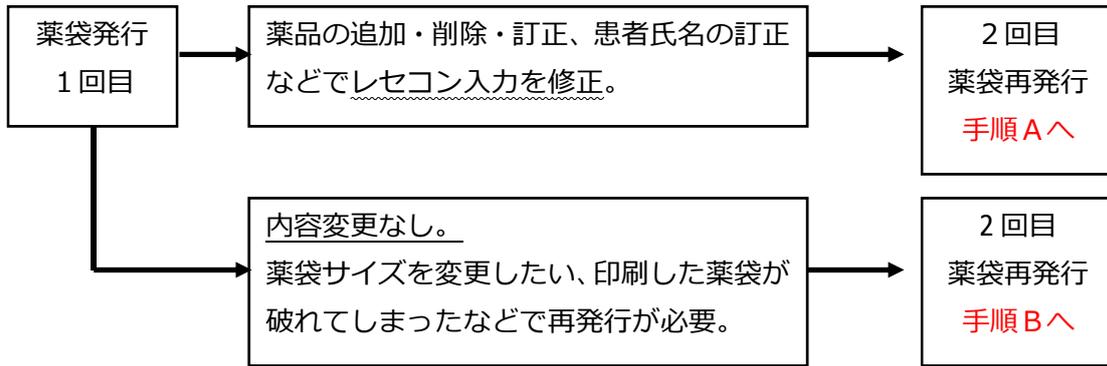
No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	大袋	1	14日分	1日1回	ねる前	1回各1包(4種類) 1回各1錠(2種類)		クリック	ロバキシン顆粒90% (局)バランス散10% ロキソニン細粒10% (局)カフェイン「ホエイ」

「F5:混合」で粉薬を混合します。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	大袋	1	14日分	1日1回	ねる前	1回各1包(4種類) 1回各1錠(2種類)		混合1	ロバキシン顆粒90% (局)バランス散10% ロキソニン細粒10% (局)カフェイン「ホエイ」 デバス錠0.5mg レンドルミン錠0.25mg

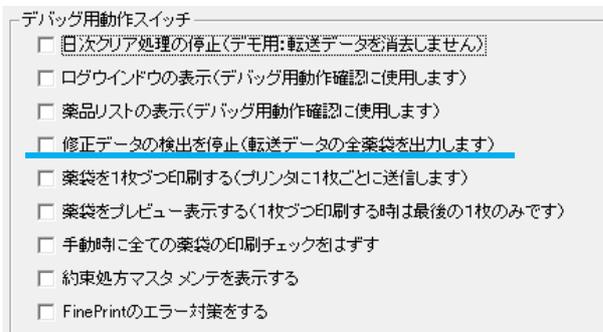
2. 薬袋の再発行

再発行には2つの流れがあります。



手順A…一度発行した患者様の処方箋を訂正したら、その変更箇所だけが再発行されます。薬袋リスト(発行画面)を停めている場合は、変更箇所だけに印刷の✓が付きます。

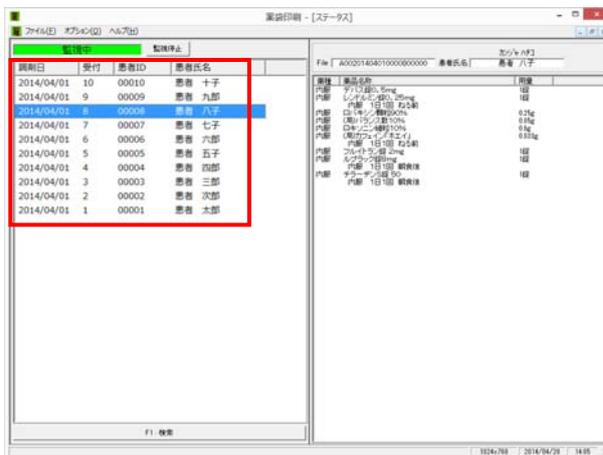
オプション ⇒ システム設定 ⇒ システム2



⇒ 修正データの検出を停止(転送データの全薬袋を出力します)の✓を外しておく必要があります。

手順B…薬袋ソフトから直接再発行を行います。

タスクバーから薬袋ソフトを画面上に展開→ステータス画面に表示された患者一覧から再発行する患者様の行をクリックして薬袋リスト(発行画面)を出します。→必要な薬袋にだけ“印刷”✓を残して再発行を行います。



※手動でタスクバーから薬袋ソフトを展開した場合、発行後も自動でタスクバーに戻らずデスクトップ画面に留まります。再発行を終えたら手動で最小化(タスクバーに戻す)してください。

X. 患者個別「編集履歴の保存機能」

患者様ごとに、薬袋リストで編集した内容を過去履歴3回まで保存することができます。
例)

The screenshot shows a window titled '薬袋印刷 - [薬袋リスト]' with a menu bar (ファイル(F), オプション(O), ヘルプ(H)) and a patient information bar (患者ID: 00001, 患者氏名: 患者 太郎, 性別: 男, 生年月日: S28/10/10(65)). Below is a table of medicine bags:

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日2回	朝・夕食後	1回1錠			クラリス錠200mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠 1回各1錠 (3種類)			ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg ロキソニン錠60mg トランサミン錠250mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	5回分		熱が高いとき	1回2錠			カロナール錠200

An arrow points from the first row to a text box: '上のように自動作成された薬袋を 下のように編集しました。' Below this, a second table shows the edited version:

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日2回	朝・夕食後	テキスト追加	1回1錠		クラリス錠200mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	4日分	1日3回	毎食後				ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg ロキソニン錠60mg トランサミン錠250mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	5回分		熱が高いとき	1回2錠			カロナール錠200

Red dashed boxes highlight '中袋' (Medium Bag) and '小袋→中袋' (Small Bag to Medium Bag) in the second table. A red box highlights the '保存' (Save) button at the bottom right of the interface.

編集内容を残したい場合は「保存」ボタンを押します。



データを保存しました。→「OK」で閉じます。

保存したデータがある患者様は、薬袋リストの右上に「保存データあり」と表示されます。

The screenshot shows the same patient information bar as before, but with a red box around the text '保存データあり' (Save Data Available) in the top right corner of the window.

保存したデータは「履歴」ボタンより、直近3回分まで呼び出すことができます。

調剤日	科	医師
2014/04/01	内科	医師 太郎

Buttons: 削除 (Delete), ESC: キャンセル (Cancel), Enter: 選択 (Select). The 'Enter: 選択' button is highlighted with a red box.

「選択」ボタンを押すと保存データを表示します。

※不要な履歴データは「削除」ボタンより削除できます。

※基本的には編集した内容を全て保存できます。

※調剤日は、保存データの調剤日ではなく、薬袋リストを開いたデータの調剤日になります。

XI. その他設定

1. 薬袋に画像を貼り付けて、オリジナル薬袋を作る

薬種ごとに、jpg や gif などの画像を薬袋に貼り付けることができます。

オプション ⇒ 印刷設定



薬種別

✓を付けた薬種の設定（画像貼り付け）を行います。

NO. 1、2、3の3つまで印刷する画像を選択できます。

印刷：薬袋に印刷する項目にチェックを付けます。

X：印字位置を横に移動。数値が大きいと右よりに印字。

Y：印字位置を縦に移動。数値が大きいと下よりに印字。

※用紙の左上隅が座標0になります。

ファイル名：ダブルクリックすると、ファイルから画像が選択できます。

全ての設定が終了したら、「適用」を押して「OK」で終了。

2. バックアップ

コンピューター故障に備えて、必要ファイルのバックアップしておくことをお勧めします。

オプション ⇒ システム設定 ⇒ システム2

バックアップ先 : 参照 からバックアップファイルの保存先を指定します。

自動バックアップ :

1. 自動バックアップしない……自動でバックアップは行いません。

バックアップ実行 ボタンから手動で行ってください。

2. 毎日、起動時にバックアップする(1日1回のみ)……システム起動時に自動でバックアップ行います。

※USBメモリなどの外部媒体をバックアップ先に指定している場合は、コンピューター起動直後は認識できないことがあるので、暫くしてからシステムを起動するか、手動バックアップを選択してください。

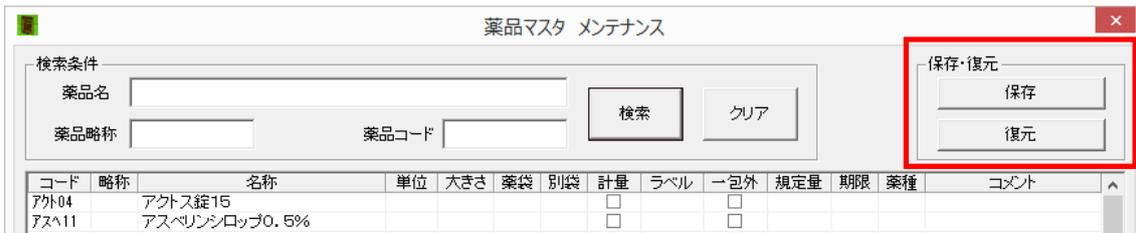
バックアップ実行 ……ボタンを押すとバックアップ先へファイル保存します。

3.各マスタの保存・復元

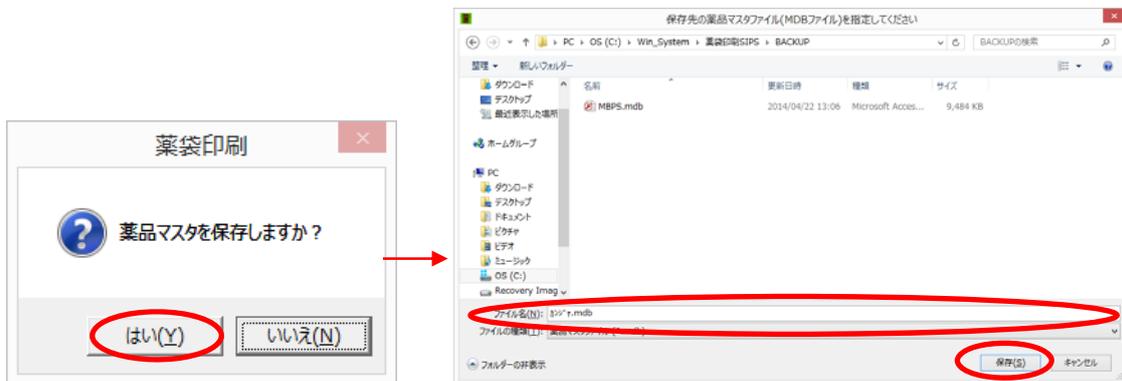
薬品マスタや患者マスタ等の設定を保存しておくことで、都合によって、いつでもその時の設定に戻すことができます。設定変更を触りすぎて設定が複雑になってしまった時などに役立ちます。

各マスタの画面より、それぞれで行います。

オプション ⇒ ○○マスタ メンテ



【保存】

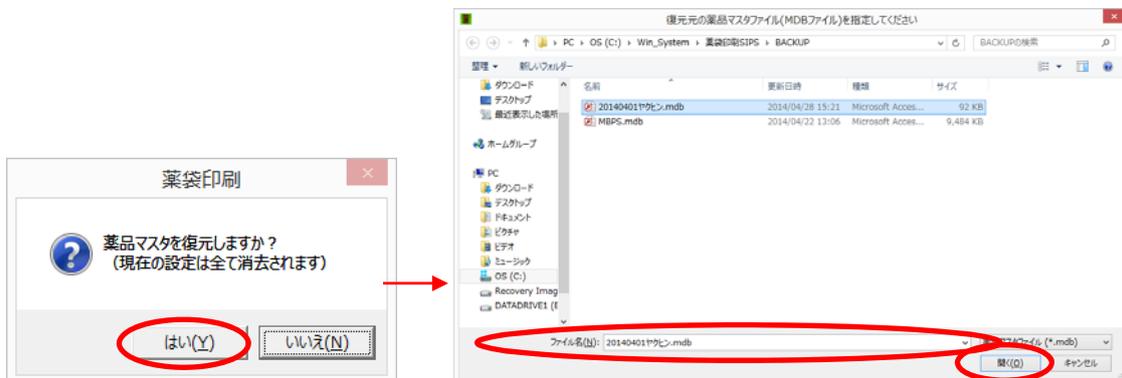


○○マスタを保存しますか? ⇒ 「はい」

⇒ 保存先を指定して、適当なファイル名を付けて「保存」

※ファイル名は自由に付けても構いませんが、あとになって分かり易いものにします。

【復元】



○○マスタを復元しますか? ⇒ 「はい」

⇒ 保存先のフォルダから復元したいファイルを選択して「開く」

ポイント

※ファイル名の前後に保存日を入れておくと、いつ頃の設定かが分かります。

4. 不要な用法コメント（服用指示）を印刷しない

印刷項目の服用指示で薬袋に印刷したくないコメントがある場合は、以下の設定を行ってください。

※服用指示 = 用法コメント

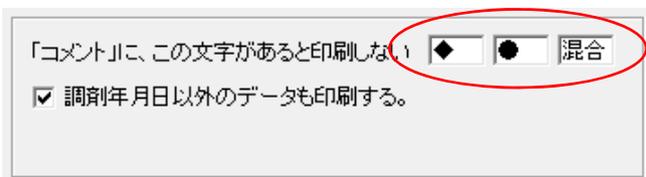
用法コメントは、ほとんどのレセコンメーカーで外用部位や曜日指定などの用法とは別に入力されたコメントに該当します。

<設定方法>

オプション-システム設定-システム 1



『「コメント」に、この文字があると印刷しない』に三つまで印刷対象外の文字を設定できます。



印刷対象外の文字は、“その文字を含む”テキストとなります。

上の設定例だとレセコンに「◆」「●」「混合」という文字を含む場合は、そのコメントは薬袋に印刷しません。

5. データの履歴保存日数

ステータス画面に表示するレセコンから受信したデータの保存期間を設定できます。保存期間内はデータをクリアしないので、薬袋ソフト側から薬袋の再発行が可能です。

★要注意★

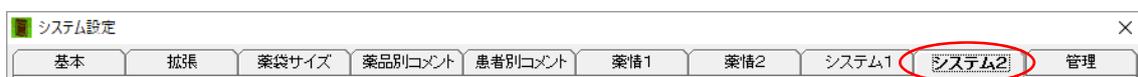
※レセコンと同居している場合は、長期間の設定をしないでください。

長期間のデータ蓄積はソフトの動作及びパソコン自体の動作遅延に繋がります。

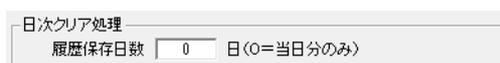
※推奨は0日 = 当日のみです。後日再発行が多い薬局では7日間ぐらいで設定します。

<設定方法>

オプション-システム設定-システム 2



履歴保存日数に数値を入力。



XII. よくある問い合わせ ～設定逆引き～

薬袋がいない薬品

湿布薬やシロップ剤などで薬袋はいるらない(手書きやラベルで対応)のに、薬袋発行される、もしくは発行画面に印刷対象で上がってくるのを出てこないようにしたい場合、

薬袋印刷 - [薬袋リスト]

新規 患者ID 00004 患者氏名 患者 西郎 性別 男 生年月日 S08/04/26(81)

薬袋 一包

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	3日分	1日3回	毎食後	1回1.38mL 1回分2.67mL (2種類)			アスピリンシロップ0.5% ペリアクチンシロップ0.04% ムコダイン シロップ 5%
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回1包			セフゾン細粒小児用10%
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1			1日1回 ねる前	全量 4枚			ホクナリンテープ0.5mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1			1日2・3回	全量 20g	混合1		プロベト(局) ベシカム 軟膏

発行画面で発行の対象となっている場合は、初回は“印刷”の✓を外してからそのまま必要な薬袋のみを発行ください。自動印刷の場合は、発行されて初めて気が付きます。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input type="checkbox"/>	小袋	1	3日分	1日3回	毎食後	1回1.38mL 1回分2.67mL (2種類)			アスピリンシロップ0.5% ペリアクチンシロップ0.04% ムコダイン シロップ 5%

次回から発行されない(画面にも出てこない)ようにするには、

- ① オプション ⇒ 薬品マスタメンテ



- ② 該当の薬品を検索して“薬袋”欄で「なし」を選択します。

薬品マスタ メンテナンス

検索条件

薬品名 アスピリンシ

薬品略称 薬品コード

保存・復元

コード	略称	名称	単位	大きさ	薬袋	別袋	計量	ラベル	一包外	規定量	期限	薬種	コメント
アスピ		アスピリンシロップ0.5%			<input type="text" value="なし"/>								



「なし」と表示されれば設定は完了です。

「閉じる」ボタンで薬品マスタ画面を閉じます。

薬袋がいない患者様 (いつも再利用で薬袋を持ってこられる方)

→ **1枚の薬袋にまとめる** or **間違えて発行しないようにしたい**

- ① オプション ⇒ 患者マスタメンテ ⇒ 該当の患者様を検索します。
赤枠内をダブルクリックすれば患者情報詳細画面が開きます。

ID	フリガナ	氏名	性別	生年月日	個別設定	一袋化	一袋化外	商品別
00003	カシヤ サアロウ	患者 三郎	男	S140922				

- ② 右上にある「個別設定を使用する」に✓を付けます。
すると「初期値設定」ボタンが押せるようになるので押します。
チェックの付き方がシステム設定と同じ（初期設定）になります。

- ③ 患者氏名、病院名、薬局名だけ（用法や薬品名は印刷されない）を印刷した薬袋を1枚発行する場合は、

「No.19 薬袋を一袋で印刷する」に✓を付けます。

19 薬袋を一袋で印刷する

(P11 参照)



どちらか必要な設定を行います。

薬袋がいない=薬袋を発行しない患者さんの場合は、

「No.22 初期状態で薬袋の印刷チェック解除」にチェックを付けます。

22 初期状態で薬袋の印刷チェック解除

(P12 参照)

※薬袋リスト(発行画面)を停止している場合は“印刷”✓が初期で外れています。

粉薬で「1回2包」服用するのに「1回1包」と印刷される

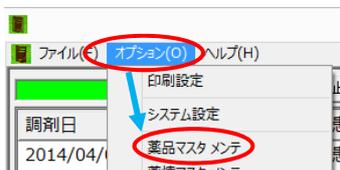
粉薬はなにも設定していなければ何gであっても1回量を「1回1包」で印刷します。
1回2包や3包で飲むことのある粉薬には1包の規格量を設定しておくことで正しく印刷されます。

(例) 処方 ツムラ大建中湯エキス顆粒 15g
1日3回毎食間 7日分

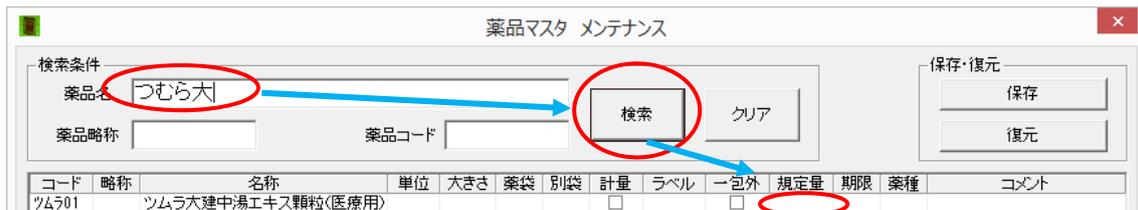
なにも設定していなければ、「1回1包」で印刷されます。

1	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	7日分	1日3回	毎食間服用	1回1包	ツムラ大建中湯エキス顆粒 (医療用)
---	-------------------------------------	----	---	-----	------	-------	------	--------------------

① オプション ⇒ 薬品マスタメンテ

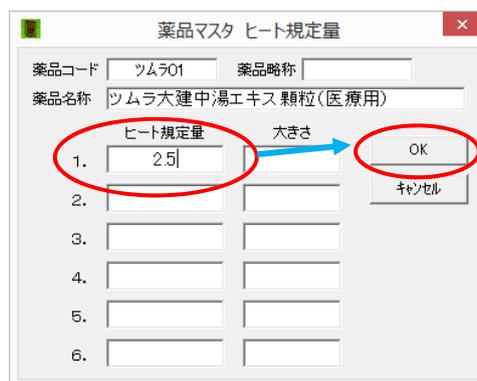


② 該当の薬品を検索して“規定量”欄をダブルクリックします。



③ 薬品マスタヒート規定量という画面が展開します。

ヒート規定量の欄に1包の規格量を入力します。→「OK」



規定量



「規定量」欄に丸印が表示されれば設定は完了です。

「閉じる」ボタンで薬品マスタ画面を閉じます。

1	<input checked="" type="checkbox"/>	大袋	1	7日分	1日3回	毎食間服用	1回2包	ツムラ大建中湯エキス顆粒 (医療用)
---	-------------------------------------	----	---	-----	------	-------	------	--------------------

1回量を設定した規格量で割った数字が包数となります。

例のツムラ大建中湯エキス顆粒は、1回5gなので、2.5で割ると「1回2包」となります。

混ぜ合わせている粉薬なのに「1回各1包（*種類）」と印刷される

2種類以上の同用法同日数の粉薬を混ぜているかの判断の詳細は、21ページを参照ください。
ここでは設定例を説明します。

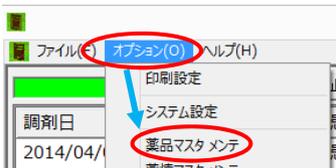
設定例)

ビオフェルミン配合散とタンニン酸アルブミンとを混ぜ合わせて“1包”としているのに、
下のように「1回各1包（2種類）」となっている場合、

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回各1包（2種類）			ビオフェルミン配合散
										タンニン酸アルブミン

両方か片方の薬品が、薬品マスタの設定で“混合にすることは無い薬品”となっています。
※通常、混ぜ合わせが考えられる薬品にはすべて計量✓を付けます。

① オプション ⇒ 薬品マスタメンテ



② 該当の薬品を検索します。

“計量”欄に✓が付いてあるか確認します。無い場合は✓を付けます。

コード	略称	名称	単位	大きさ	薬袋	別袋	計量	ラベル	一包外	規定量	期限	薬種	コメント
ヒオフェル0		ビオフェルミン配合散					<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				



「閉じる」ボタンで薬品マスタ画面を閉じます。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回1包	<input checked="" type="checkbox"/>		ビオフェルミン配合散
										タンニン酸アルブミン

用量が「1回1包」となり、混合に目印が付きます。

※混ぜているすべての粉薬に“計量”✓を付けたのに「1回1包」とならない場合は、レセコン側入力と同じ用法の括りで入力していない場合があります。

一包化薬袋の作り方（連続→反復、反復→連続）を患者個別に設定したい

(例) 処方 指示：全て一包化 ←レセコン側で薬袋用の一包化指示をたててください。

リンデロン錠	1錠
<u>1日1回朝食後</u>	<u>28日分</u>
ノイロピタン錠	3錠
プロサイリン錠	3錠
グラケーカプセル	3カプセル
<u>1日3回毎食後</u>	<u>28日分</u>
レンドルミン錠	2錠
<u>1日1回ねる前</u>	<u>28日分</u>
トフラニール錠	2錠
デパス錠	2錠
<u>1日2回朝・夕食後</u>	<u>28日分</u>

はじめに、初期設定(システム設定)をどうしているかで下記AかBの状態になります。

A. オプション ⇒ システム設定

2 一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける ✓有 ★連続

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	28日分	1日1回	朝食後	1回1包			リンデロン錠0.5mg
										ノイロピタン配合錠
										プロサイリン錠 20
										グラケー カプセル 15mg
										トフラニール錠 10mg
デパス錠0.5mg										
2	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	28日分	1日1回	昼食後	1回1包			ノイロピタン配合錠
										プロサイリン錠 20
										グラケー カプセル 15mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	28日分	1日1回	夕食後	1回1包			ノイロピタン配合錠
										プロサイリン錠 20
										グラケー カプセル 15mg
										トフラニール錠 10mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	28日分	1日1回	ねる前	1回2錠			デパス錠0.5mg
										レンドルミン錠0.25mg

B. オプション ⇒ システム設定

2 一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける ✓無 ★反復

16 一包化時に、就寝前を分ける ✓無

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	大袋	2	28日分	1日3回	毎食後	1回1包			リンデロン錠0.5mg
										ノイロピタン配合錠
										プロサイリン錠 20
										グラケー カプセル 15mg
										トフラニール錠 10mg
デパス錠0.5mg										
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	28日分	1日1回	ねる前	1回2錠			レンドルミン錠0.25mg

初期設定で作成される薬袋ではなく、もう一方の薬袋が必要な患者様がいる場合は、

- ① オプション ⇒ 患者マスタメンテ → 該当の患者様を検索します。

赤枠内をダブルクリックすれば患者情報詳細画面が開きます。

ID	フリガナ	氏名	性別	生年月日	個別設定	一包化	一包化外	薬品別
00011	カシヤイホウ	患者 一包	女	S260622				

- ② 右上にある「個別設定を使用する」に✓を付けます。

すると「初期値設定」ボタンが押せるようになるので押します。

✓の付き方がシステム設定と同じ（初期設定）になります。

個別設定 個別設定を使用する → 初期値設定

No	SW	オプション
1	<input type="checkbox"/>	同一服用をまとめる
2	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける
3	<input checked="" type="checkbox"/>	不均等の薬袋を別にする(単独にする)
4	<input type="checkbox"/>	外用の薬袋をまとめる
5	<input type="checkbox"/>	最大薬袋を複数枚印刷する
6	<input type="checkbox"/>	一包化時に、用数を1回1回とする
7	<input type="checkbox"/>	初期設定のある薬品同士をまとめる
8	<input type="checkbox"/>	薬品の異なる薬品をまとめる
9	<input type="checkbox"/>	薬品を1袋とする
10	<input type="checkbox"/>	用法の「朝・昼・夕」に色をつける
11	<input type="checkbox"/>	一包化方法「毎食」→「朝・昼・夕」
12	<input type="checkbox"/>	初期状態で薬袋の印刷チェック解除
13	<input type="checkbox"/>	薬袋を印刷しない
14	<input type="checkbox"/>	手帳を印刷しない
15	<input type="checkbox"/>	薬袋「No.」のみ、薬袋を印刷する
16	<input type="checkbox"/>	薬種・用法を印刷する
17	<input type="checkbox"/>	一包化時に、新薬を含まない
18	<input type="checkbox"/>	一包化時に、新薬を含まない
19	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
20	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
21	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
22	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
23	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
24	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
25	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
26	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
27	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
28	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
29	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
30	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
31	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
32	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する

- ③ 「No.2 一包化時に起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける」の✓を変更します。

※初期設定のままでは必要とする薬袋にならなかったわけなので、該当するチェックを反転します。

No	SW	オプション
1	<input type="checkbox"/>	同一服用をまとめる
2	<input checked="" type="checkbox"/>	一包化時に、起床時・朝・昼・夕・就寝前に分ける
3	<input checked="" type="checkbox"/>	不均等の薬袋を別にする(単独にする)
4	<input type="checkbox"/>	外用の薬袋をまとめる
5	<input type="checkbox"/>	最大薬袋を複数枚印刷する
6	<input type="checkbox"/>	一包化時に、用数を1回1回とする
7	<input type="checkbox"/>	初期設定のある薬品同士をまとめる
8	<input type="checkbox"/>	薬品の異なる薬品をまとめる
9	<input type="checkbox"/>	薬品を1袋とする
10	<input type="checkbox"/>	用法の「朝・昼・夕」に色をつける
11	<input type="checkbox"/>	一包化方法「毎食」→「朝・昼・夕」
12	<input type="checkbox"/>	初期状態で薬袋の印刷チェック解除
13	<input type="checkbox"/>	薬袋を印刷しない
14	<input type="checkbox"/>	手帳を印刷しない
15	<input type="checkbox"/>	薬袋「No.」のみ、薬袋を印刷する
16	<input type="checkbox"/>	薬種・用法を印刷する
17	<input type="checkbox"/>	一包化時に、新薬を含まない
18	<input type="checkbox"/>	一包化時に、新薬を含まない
19	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
20	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
21	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
22	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
23	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
24	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
25	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
26	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
27	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
28	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
29	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
30	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
31	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する
32	<input type="checkbox"/>	一包化時に、1回1回印刷する

- ④ 「OK」ボタンで画面を閉じて、戻った画面を「閉じる」で設定完了です。

薬品一つに1枚の薬袋を作成したい

用法と日数が同じ薬品は、汎用的な設定内では同じ薬袋にまとまります。

2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠 1回各1錠(3種類)	ビーエイ配合錠 ムコダイン錠500mg ロキソニン錠60mg トランサミン錠250mg
---	-------------------------------------	----	---	-----	------	-----	--------------------	--

そうでなく、一つの薬品に対して1枚ずつ薬袋を作成してほしいとの希望の患者様がいる場合は以下の設定を行います。

- ① オプション ⇒ 患者マスタメンテ → 該当の患者様を検索します。

赤枠内をダブルクリックすれば患者情報詳細画面が開きます。

- ② 右上にある「個別設定を使用する」に✓を付けます。

すると「初期値設定」ボタンが押せるようになるので押します。

✓の付き方がシステム設定と同じ（初期設定）になります。

- ③ 「No.9 一薬品一薬袋とする」に✓を付けます。

9 一薬品一薬袋とする

- ④ 「OK」ボタンで画面を閉じて、戻った画面を「閉じる」で設定完了です。

2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回2錠	ビーエイ配合錠
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回1錠	ムコダイン錠500mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回1錠	ロキソニン錠60mg
5	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	毎食後	1回1錠	トランサミン錠250mg

その患者様は、一薬品に対して1枚の薬袋を作成します。

一包化ではないが、朝なら朝だけ、昼なら昼だけと服用時点毎の薬袋を作成したい

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	朝食後	1回各1錠(2種類) 1回2錠			ハルナールD錠0.2mg バップフォー錠10 タケブロンOD錠15
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日2回	朝・夕食後	1回1加*毎			ボルタレンSRカプセル37.5mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	ねる前	1回1包 1回1錠			ツムラ炙甘草湯エキス顆粒 テルネリン錠1mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日3回	毎食後	1回1加*毎 1回1錠			セルベックスカプセル50mg カルナクリン錠50IU

通常だと「1×朝食後」、「2×朝・夕食後」、「1×ねる前」、「3×毎食後」の薬袋が作成される処方だとします。

患者様より「1×朝食後」、「1×昼食後」、「1×夕食後」、「1×ねる前」と服用時点ごとに薬袋を分けほしいと希望があった場合は下記の設定を行います。

- ④ レセコン入力で、一包化でなくても一包化指示をたてて入力します。
- ⑤ オプション ⇒ 患者マスタメンテ → 該当の患者様を検索します。
赤枠内をダブルクリックすれば患者情報詳細画面が開きます。

- ⑥ 右上にある「個別設定を使用する」に✓を付けます。
すると「初期値設定」ボタンが押せるようになるので押します。
チェックの付き方がシステム設定と同じ（初期設定）になります。

- ⑦ 「No.28 一包化をヒート扱い・服用時点毎にする」に✓を付けます。

⑧ 「OK」ボタンで画面を閉じて、戻った画面を「閉じる」で設定完了です。

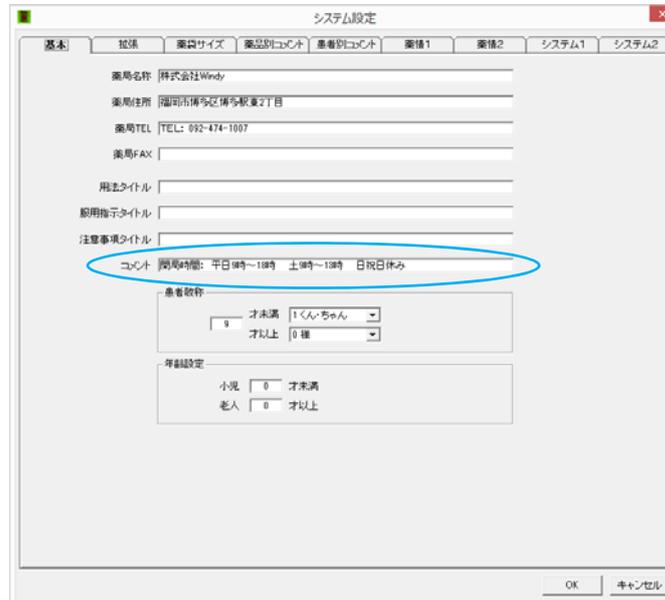
No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	混合	選択	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	朝食後	1回各1錠(3種類) 1回2錠 1回各1カ*粒(2種類)			ハルナールD錠0.2mg
										パップフォー錠10
										タケブロンOD錠15
										ボルタレンSRカプセル37.5mg
										セルベックスカプセル50mg
カルナクリン錠50IU										
2	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	夕食後	1回各1カ*粒(2種類) 1回1錠			ボルタレンSRカプセル37.5mg
										セルベックスカプセル50mg
										カルナクリン錠50IU
3	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	ねる前	1回1包 1回1錠			ツムラ炙甘草湯エキス顆粒
										テルネリン錠1mg
4	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	14日分	1日1回	昼食後	1回1カ*粒 1回1錠			セルベックスカプセル50mg
										カルナクリン錠50IU

ポイント

一包化の連続巻き薬袋との違いは、薬袋サイズ判定と用量の表記が異なります。

薬袋に開局時間を印刷したい

① オプション→システム設定→基本



“コメント”に開局時間を入力します。「OK」ボタンで画面を閉じます。

※“コメント”をすでに使用している場合は、用法タイトル、服用指示タイトル、注意事項タイトルも使用できますが一袋印刷では印刷されません。

② オプション→印刷設定→設定を行う薬袋サイズのプリンタ名の上をクリックします。

③設定行う薬袋サイズの上をクリックします。

項目名	印刷	X	Y	フォント	サイズ	書式
用法	<input checked="" type="checkbox"/>	22.0	81.0	MS P明朝	28	
用量	<input checked="" type="checkbox"/>	22.0	105.0	MS P明朝	18	
1日回数	<input checked="" type="checkbox"/>	18.0	71.0	MS P明朝	21	
日数・回数	<input checked="" type="checkbox"/>	78.0	71.0	MS P明朝	20	
服用指示タイトル	<input checked="" type="checkbox"/>	70.0	75.0	MS P明朝	17	
服用指示	<input checked="" type="checkbox"/>	22.0	92.0	MS P明朝	17	
注意事項タイトル	<input type="checkbox"/>	85.0	102.0	MS P明朝	12	
注意事項	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	MS P明朝	12	
コメント	<input type="checkbox"/>	10.0	35.0	MS P明朝	12	

④スクロールバーを下げます。

⑤“コメント”項目を印刷させるため、印刷✓を付けてX軸、Y軸、フォント、サイズを設定します。
※P5 参照

X, Yはmm単位で設定します。文字サイズは、ポイント数で設定します。

⑥ 「適用」 → 「OK」 で設定完了。

使用している全ての薬袋サイズで設定を行ってください。

透析の薬袋

(例) 処方 指示：エパデール以外一包化 ←レセコン側で薬袋用の一包化指示をたててください。

ユベラNカプセル	3カプセル
セロクラール錠	3錠
エパデールS600	3包
<u>1日3回毎食後</u>	<u>28日分</u>
ワーファリン錠	2錠
<u>1日1回朝食後</u> <u>透析日</u>	<u>4日分</u> ★
ワーファリン錠	1.5錠
<u>1日1回朝食後</u> <u>非透析日</u>	<u>24日分</u> ★
ワンアルファ錠	1錠
<u>1日3回毎食後</u>	<u>28日分</u>
<u>その他 内服処方</u>	

★ワーファリン錠は透析日と非透析日で服用量が異なるとします。その場合の入力は、4日分「朝食後 透析日」、24日分「朝食後 非透析日」というように、ふつうの「朝食後」ではなく、透析日か非透析日かの目印を付けた用法入力が必須となります。

そうすると、自動的に下記のように透析日と非透析日で日数を分割した薬袋が自動的に作成されます。

No	印刷	大きさ	枚数	日数	回数	用法	用量	薬品名称
1	<input checked="" type="checkbox"/>	小袋	1	4日分	1日3回	透析日 朝・昼・夕食後	1回1包	ユベラNカプセル100mg セロクラール錠20mg パナルジン錠100mg ワーファリン錠1mg ワンアルファ錠0.25μg リボバス錠5 ブレディニン錠50 ブレドニン錠5mg プロプレス錠2.2mg
2	<input checked="" type="checkbox"/>	大袋	1	24日分	1日3回	非透析日 朝・昼・夕食後	1回1包	ユベラNカプセル100mg セロクラール錠20mg パナルジン錠100mg ワーファリン錠1mg ワンアルファ錠0.25μg リボバス錠5 ブレディニン錠50 ブレドニン錠5mg プロプレス錠2.2mg
3	<input checked="" type="checkbox"/>	中袋	1	28日分	1日3回	朝昼夕食後	1回1包	エパデールS600